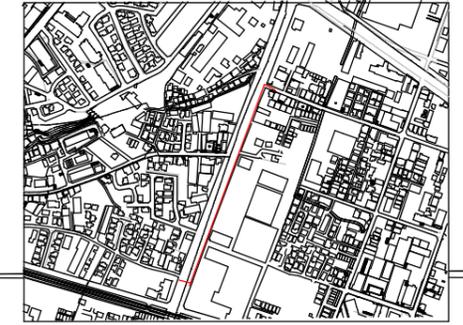


工 事 設 計 図 書									
年 度	令和4年度	技術管理者	課長	係長	係長	精算者	設計者	老朽管整備事業費	
工 事 番 号	04-2202							設 計 年 月 日	令和4年 7月 7日
着 工 番 号			精 算 年 月 日	令和4年 7月 7日					
施 工 理 由									
施 工 箇 所	明石市立石1丁目ほか地内					施 工 方 法 及 び 工 事 期 限		<input checked="" type="radio"/> 請 負 単価契約 令和5年3月10日まで	
工 事 名 称	立石1丁目ほか地内配水管布設替工事					支 払 い 方 法		前 払 金	あり (40%以内)
								中 間 前 払 金	あり (20%以内)
								部 分 払	あり (2回以内)
工 事 概 要	配水管布設工計 L=343.6m								
	配水管布設工 φ75 L=3.9m φ300 L=339.7m								
	仕切弁設置工 φ75 1箇所 φ300 4箇所								
	消火栓設置工 φ300 1箇所								
	既設管撤去工 1式								
	舗装復旧工 1式								
当初設計金額	円	消費税相当額	円	当初請負金額	円	消費税相当額	円		
変更設計金額	円	消費税相当額	円	変更請負金額	円	消費税相当額	円		
増 減	円	増 減	円	増 減	円	増 減	円		



配水管布設替平面図(その1) S=1/300

DCIP-GX-S φ 75 L= 3.9m φ 300 L=339.7m



DGX 曲管 φ300×45° (横)
DGX 曲管 φ300×45° (横)
仕切弁室 (明石V型) H=740
GX形 ツフトシル仕切弁 (受挿し) φ300

DGX-G-S 甲切管 φ300×1000①
DGX 曲管 φ300×45° (縦)
DGX 曲管 φ300×45° (縦)
DGX 両受曲管 φ300×45° (横)
DGX-G-S 乙切管 φ300×2000②
DGX 両受曲管 φ300×45° (横)
DGX-G-S 乙切管 φ300×1500③

DGX-G-S 甲切管 φ300×4000⑤
GX形 P-Link φ300
DGX-P-S 甲切管 φ300×1500④
DGX 曲管 φ300×45° (横)
DGX 曲管 φ300×45° (横)
DGX 乙字管 φ300×300H (縦)

ツフトシル仕切弁付割丁字管 φ400×300
仕切弁室 (明石V型) H=740
フランジ補強金具 (LSP形) φ300
フランジ耐震金具 φ300(30kN以上)
DGX 短管1号 φ300

DGX 曲管 φ300×45° (縦)
DGX 曲管 φ300×45° (縦)
DGX 曲管 φ300×45° (横)
DG-G-S 乙切管 φ300×1500④
DGX 曲管 φ300×45° (横)

DGX 曲管 φ300×45° (横)
DGX-G-S 乙切管 φ300×1000⑥
DGX 両受曲管 φ300×45° (横)

土工① φ300
d=1.20m L=6.0m
土工② φ300
d=0.80m L=6.5m

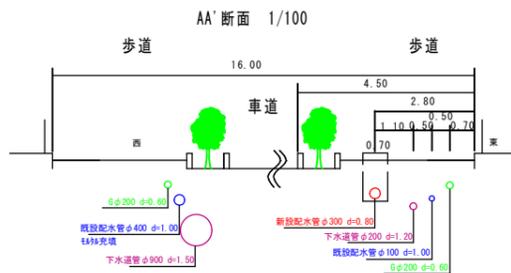
DNS 柱 (異形管用) φ400

DGX 曲管 φ300×22 (横)
DGX 曲管 φ300×22 (横)
DG-G-S 乙切管 φ300×2000⑦
DGX 両受曲管 φ300×22 (横)
DGX 曲管 φ300×22 (横)

消火栓室 (明石IV型・丸型) (耐スリップ用 歩道) H=640
レック式単口消火栓 (浅埋用) φ75×65
フランジ短管 φ75×100
補修弁 (キック式) φ75×100
フランジ短管 φ75×100
DGX フランジ付きT字管 φ300×75

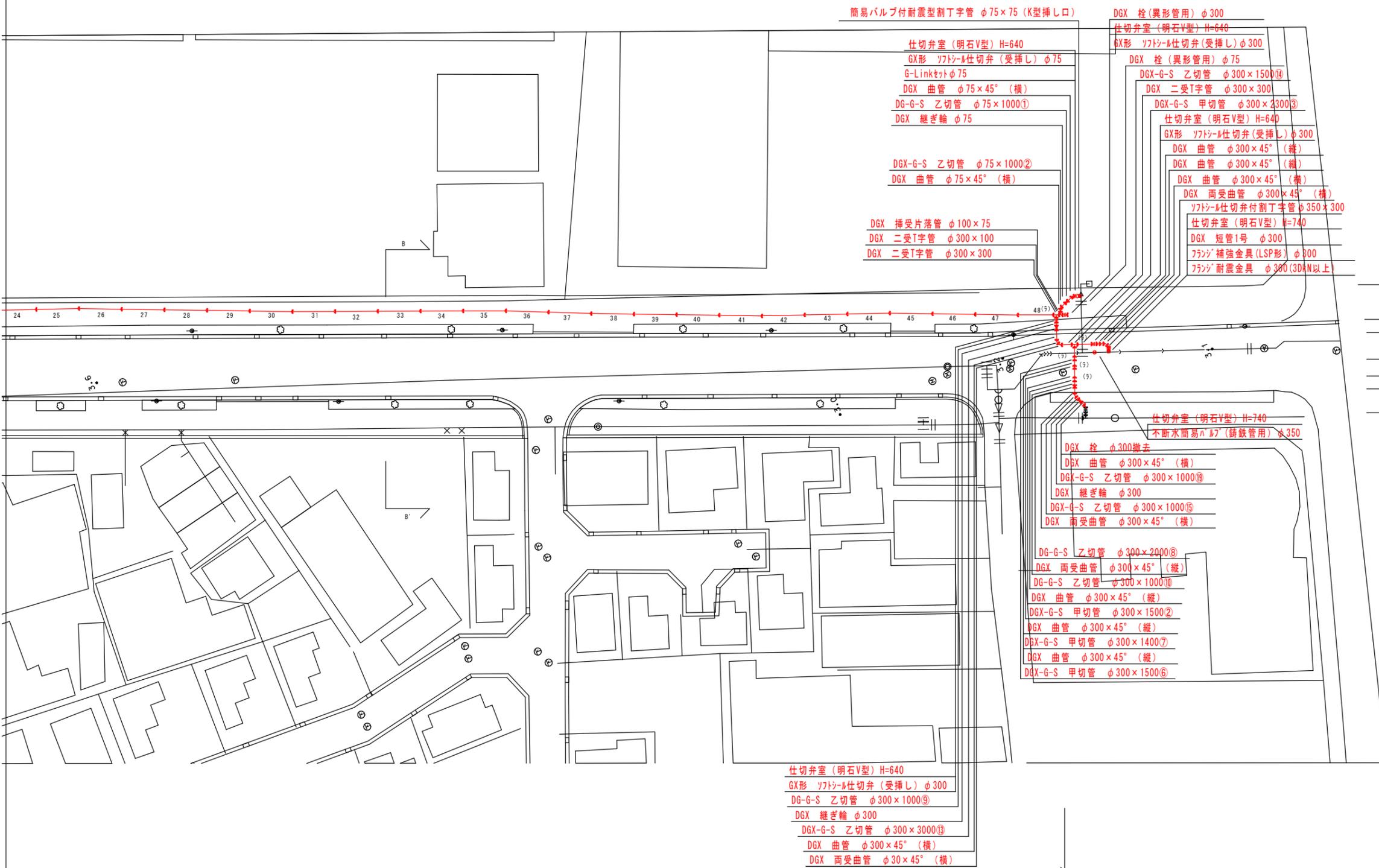
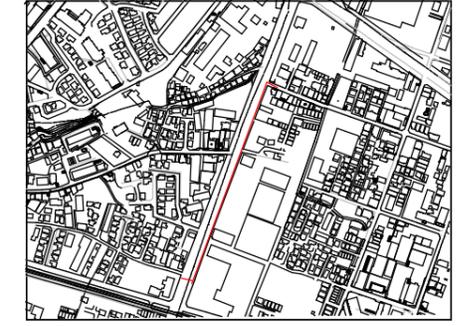
土工③ φ300
d=0.80m L=93.6m

土工④ φ300
d=1.20m L=3.0m

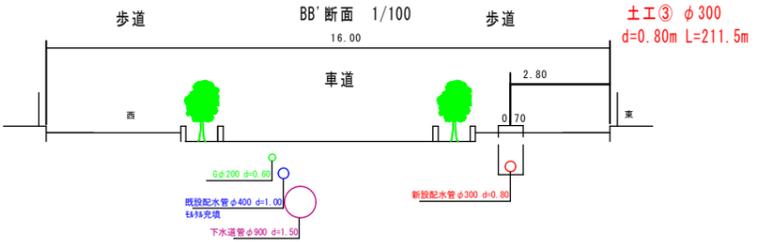


図番	1/6	着工番号	令和4年度
工事名	立石1丁目ほか地内配水管布設替工事		
図種	配水管布設平面図		
場所	明石市立石1丁目ほか地内		
縮尺	図示		
制作日			
設計者	製図者		

配水管布設替平面図(その2) S=1/300



- 土工① φ75
d=0.80m L=3.9m
- 土工② φ300
d=0.80m L=12.8m
- 土工③ φ300
d=0.80m L=1.0m
- 土工④ φ300
d=1.80m L=2.5m
- 土工⑤ φ300
d=0.80m L=2.8m

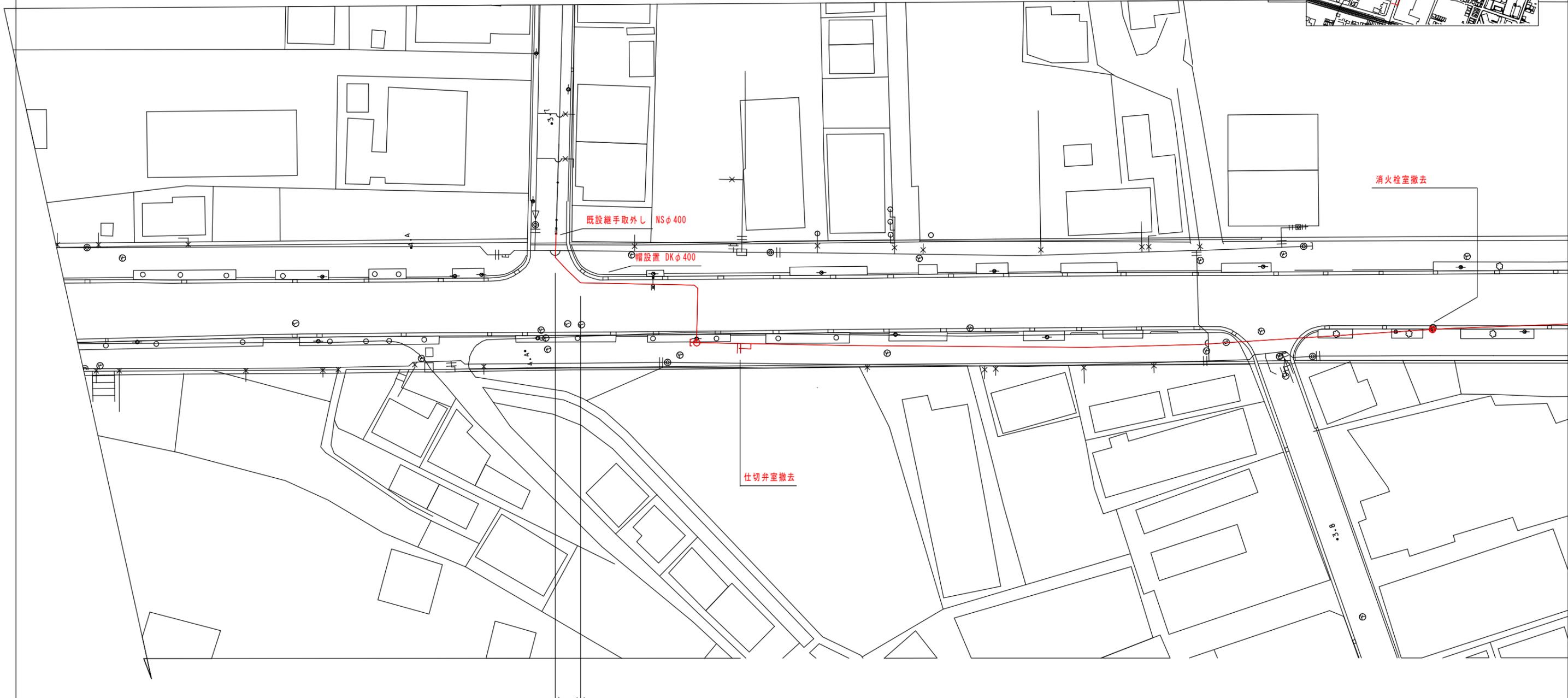
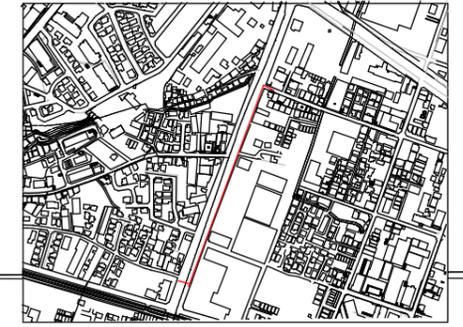


図番	2 / 6	着工番号	令和4年度
工事名	立石1丁目ほか地内配水管布設替工事		
図種	配水管布設平面図		
場所	明石市立石1丁目ほか地内		
縮尺	図示		
制作日			
設計者			製図者



既設管撤去平面図(その1) S=1/300

既設管撤去 $\phi 75$ L= 6.5m $\phi 350$ L=7.0m
 $\phi 400$ L=315.2m (内L=306.0mモルタル充填)

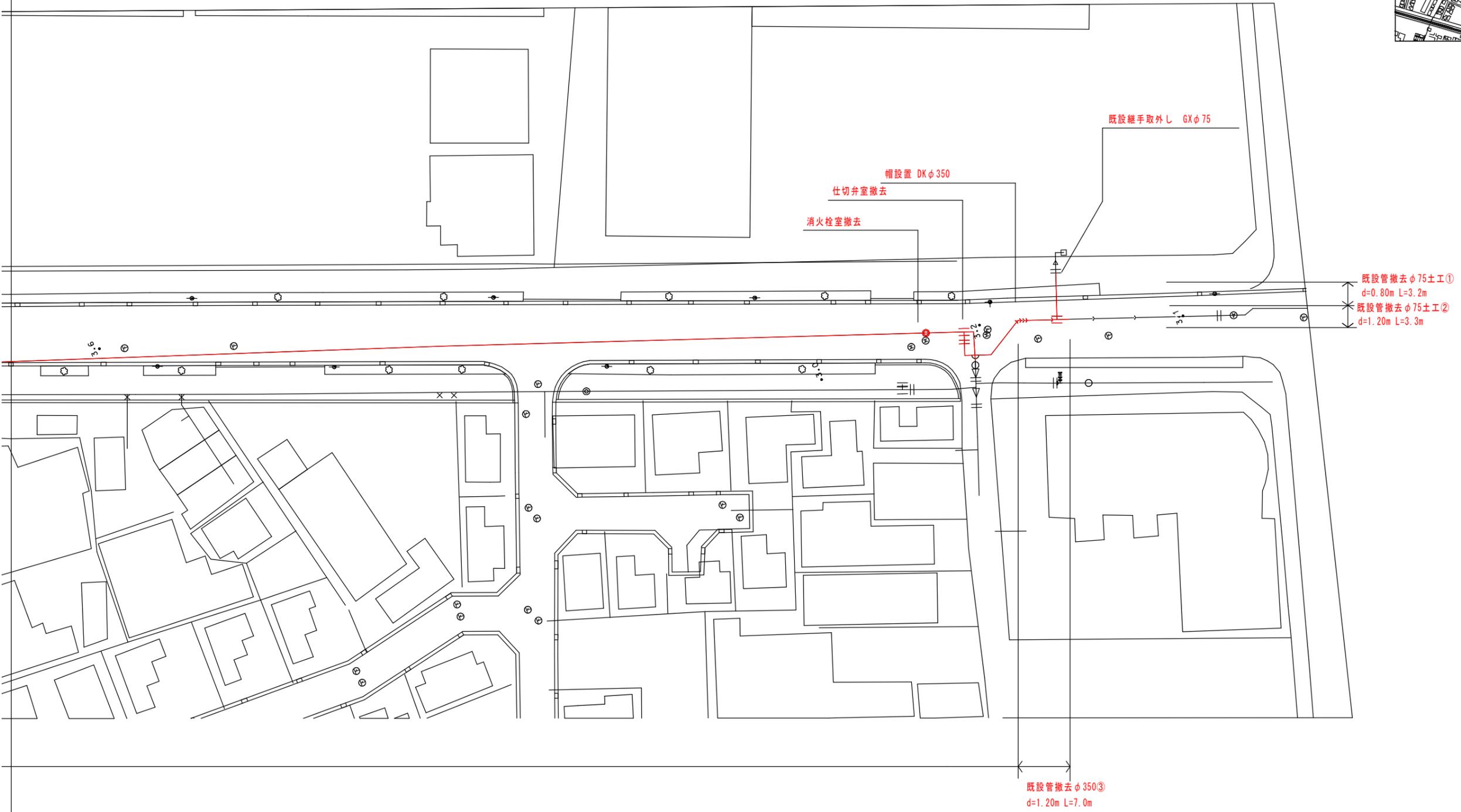
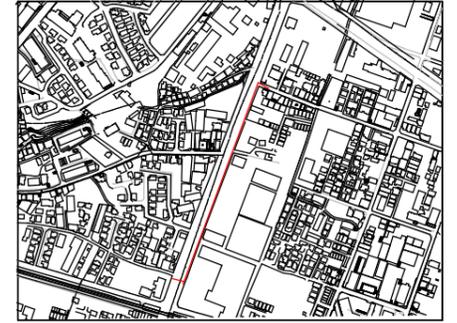


既設管撤去 $\phi 400$ ④
d=1.20m L=9.2m

モルタル充填工 $\phi 400$
V=38.5m³ L=306.0m

図番	3 / 6	着工番号	令和4年度
工事名	立石1丁目ほか地内配水管布設替工事		
図種	既設管撤去平面図		
場所	明石市立石1丁目ほか地内		
縮尺	図示		
制作日			
設計者		製図者	

既設管撤去平面図(その2) S=1/300



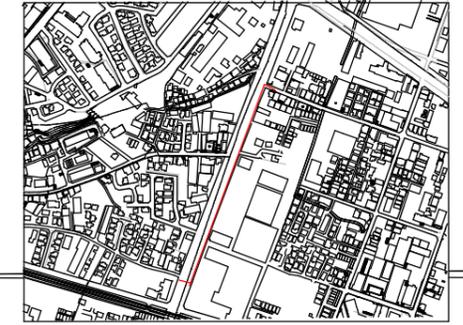
図番	4 / 6	着工番号	令和4年度
工事名	立石1丁目ほか地内配水管布設替工事		
図種	既設管撤去平面図		
場所	明石市立石1丁目ほか地内		
縮尺	図示		
制作日			
設計者		製図者	



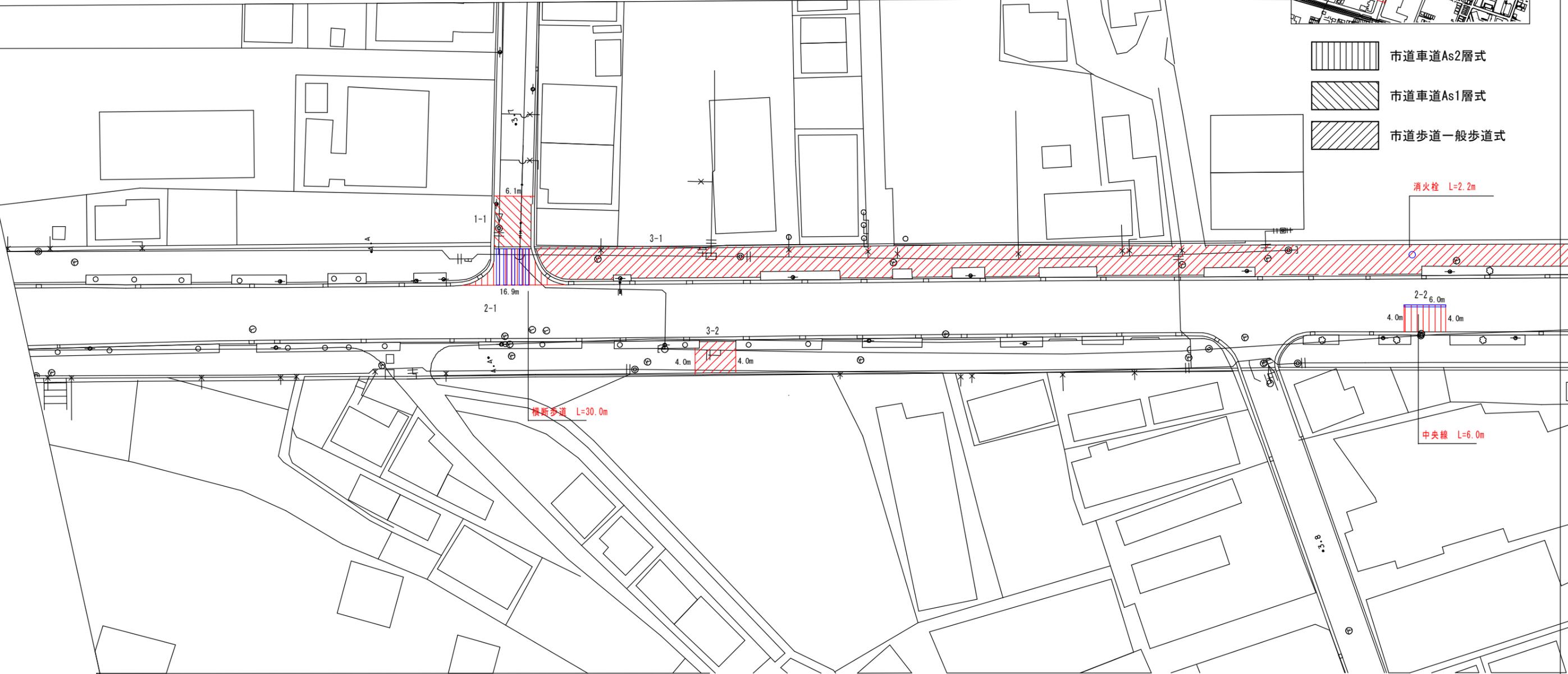
舗装復旧平面図(その1) S=1/300

区画線工 総括

舗装工種	延長 (m)
実線・破線W150 黄 消火栓廻り	2.2
実線・破線W150 外側線・中央線	6.0
実線・破線W450 横断歩道・停止線	30.0



-  市道車道As2層式
-  市道車道As1層式
-  市道歩道一般歩道式



市道車道
As1層式5cm

再生密粒度アスファルト t=50	グラムコト
粒調砕石 t=100	不陸整正(粒調砕石 t=30)
(配管時施工)	

市道車道
As1層式5cm

番号	面積 (m2)
1-1	45.6
合計	45.6

(市道) 車道
As2層式10cm

再生密粒度アスファルト t=50 (打替時施工)	タックコート
再生粗粒度アスファルト t=50 (打替時施工)	グラムコト
水硬性スラック t=100	不陸整正(水硬性スラック t=30)
(配管時施工)	

市道車道
As2層式10cm

番号	面積 (m2)
2-1	46.1
2-2	20.5
2-3	200.1
合計	266.7

市道歩道部
(透水性)

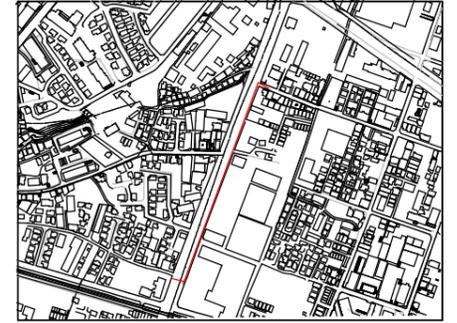
開粒度アスファルト t=50	グラムコト
粒調砕石 t=100	不陸整正(粒調砕石 t=30)
(配管時施工)	
フィルム層(砂) t=50 (配管時施工)	

市道歩道
透水性

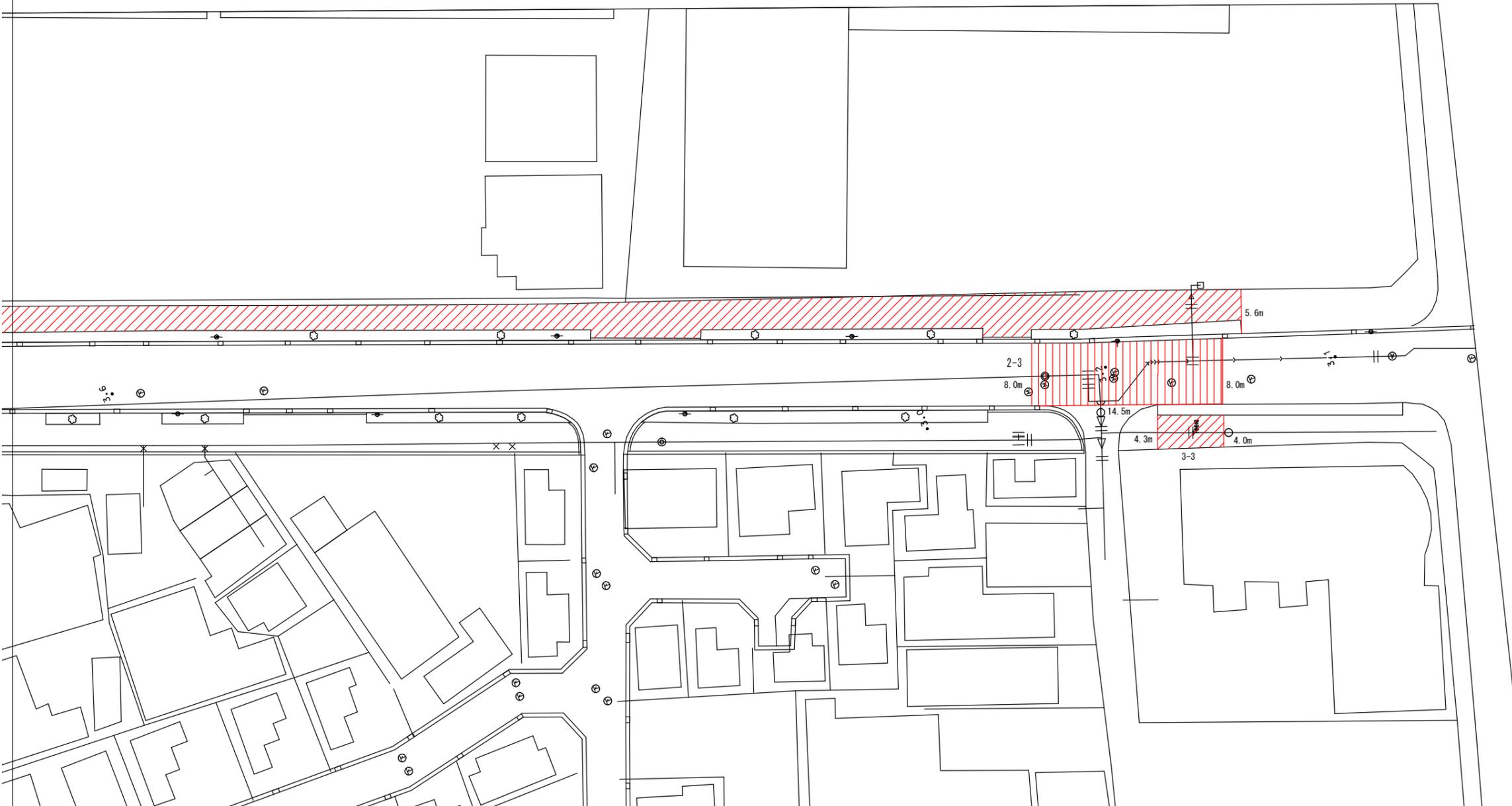
番号	面積 (m2)
3-1	1280.6
3-2	31.4
3-3	35.8
合計	1347.8

図番	5 / 6	着工番号	令和4年度
工事名	立石1丁目ほか地内配水管布設替工事		
図種	舗装復旧平面図		
場所	明石市立石1丁目ほか地内		
縮尺	図示		
制作日			
設計者		製図者	

舗装復旧平面図(その2) S=1/300



-  市道車道As2層式
-  市道車道As1層式
-  市道歩道一般歩道式



図番	6 / 6	着工番号	令和4年度
工事名	立石1丁目ほか地内配水管布設替工事		
図種	舗装復旧平面図		
場所	明石市立石1丁目ほか地内		
縮尺	図示		
制作日			
設計者		製図者	

立石1丁目ほか地内配水管布設替工事



契約数量表

本工事費	費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
管路(開削)						
φ75管路						
φ75管布設工			式		1	
材料			式		1	
DGX-S 直管 φ 75×4000		ゴム輪・ロックリング(ホルダー含)	本		1	
DGX 挿し受片落管 φ100×75		ロックリング含	個		1	
DGX 曲管 φ 75×45°		ロックリング含	個		2	
DGX 継ぎ輪 φ 75		ロックリング含	個		1	
簡易バルブ付耐震型割T字管 φ 75×75		3DkN以上 密着コア(SUS製)含む	基		1	
GX形ソケット仕切弁(両受) φ 75		ロックリング含	基		1	
仕切弁ボックス(円形1号)(H=640)		鉄蓋含む	組		1	
GX形G-Linkセット φ 75		切管異形管受用	組		4	
GX形接合セット φ 75		異形管・V用	組		4	
GX形接合セット φ100		異形管・V用	組		1	
DGX 栓(異形管用) φ 75			個		1	
表示帯			m		3.9	
ポリエチレンテープ φ75		固定材料含む	m		3.9	

契約数量表

頁0-0002/0012

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
管明示テープ (幅50mm 1巻 20m)	年号入り	巻		1	
手間		式		1	
铸铁管吊込み据付 (機械力)	呼び径 75mm以下	m		3.7	
铸铁管(新設管)切断工 (エンジンカッター)	ダクタイル铸铁管 呼び径75mm	口		2	
耐震型割T字管穿孔工 φ 75× 75	密着コア取付含む	基		1	
铸铁製仕切弁 (機械力) 設置	縦型仕切弁 呼び径 100mm以下	基		1	
仕切弁ボックス設置工 (H=640)	鉄蓋設置含む	箇所		1	
G X継手接合 (呼び径 75mm)	G-Linkの接合	口		4	
G X継手接合 (呼び径 75mm)	異形管	口		5	
G X継手接合 (呼び径 100mm)	異形管	口		1	
管明示シート工		m		3.9	
ポリエチレンスリーブ被覆 (呼び径 75mm)		m		3.9	
管明示テープ工	φ 75	m		3.9	
φ 75管布設土工		式		1	
土工		式		1	
舗装版切断 (アスファルト舗装版)	As舗装版厚->15cm以下	m		12	
舗装版取壊し積込工	舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	m2		3	
掘削積込工		m3		2	

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
掘削積込工(補助的作業なし)		m3		0.6	
掘削 (人力)	土砂 現場制約あり	m3		0.6	
残塊処分工(アスファルト)		m3		0.2	
残塊処分工(土砂)		m3		4	
仮復旧工 [密粒度[再](13)]	厚 5cm	m2		3	
路盤工(粒調碎石)	上層路盤 施工幅 : 1.8m 未満 仕上り厚10cm	m2		3	
フィルター層	t =40mm以上60mm未満	m2		3	
埋戻工 (埋戻し材->再生切込砕石)		m3		1	
埋戻工 (埋戻し材->スクリーニングス)		m3		2	
φ 300管路					
φ 300管布設工		式		1	
材料		式		1	
DGX-S 直管 φ 300×6000	ゴム輪・ロックリング(ホルダー含)	本		55	
DGX 曲管 φ 300×45°	ロックリング含	個		19	
DGX 曲管 φ 300×22° 1/2	ロックリング含	個		3	
DGX 両受曲管 φ 300×45°	ロックリング含	個		7	
DGX 両受曲管 φ 300×22° 1/2	ロックリング含	個		1	
DGX 乙字管 φ 300×300H	ロックリング含	個		1	

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
DGX 二受T字管 φ300×100	ロックリング含	個		1	
DGX 二受T字管 φ300×300	ロックリング含	個		2	
DGX フランジ付きT字管 φ300×75	ロックリング含	個		1	
DGX 継ぎ輪 φ300	ロックリング含	個		2	
DGX 短管1号 φ300	ロックリング含	個		2	
DGX 栓(異形管用) φ300		個		1	
DNS 栓(異径管用) φ400	接合部材1組含む	個		1	
ソトシール仕切弁付割T字管 φ350×300		基		1	
ソトシール仕切弁付割T字管 φ400×300		基		1	
フランジ耐震金具 φ300(3DkN以上)		組		2	
不断水簡易ハルブ(鑄鉄管用) φ350		基		1	
GX形ソトシール仕切弁(受挿し) φ300	ロックリング含	基		4	
仕切弁ボックス(円形1号)(H=640)	鉄蓋含む	組		3	
仕切弁ボックス(円形1号)(H=740)	鉄蓋含む	組		4	
ケラップ式単口消火栓(浅埋形) φ75×65	JWWA B 103, 地下式, 単口式, 0.75MPa	基		1	
フランジ短管 φ75×100	0.75MPa	個		2	
補修弁(キャップ式) φ75×100	JWWA B 126, 0.75MPa	基		1	
フランジ接合補強具(LSP形) φ75	7.5K LSPハッキン	組		4	

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
フランジ 接合補強具 (LSP形) φ300	7.5K LSPパッキン	組		2	
消火栓ボックス (円形3号) (H=640)	鉄蓋及び無収縮モルタル含む	組		1	
GX形P-Linkセット φ300	切管直管受用	組		1	
GX形G-Linkセット φ300	切管異形管受用	組		24	
GX形接合セット φ300	異形管・V用	組		31	
GX形ラ付 φ300	ライボート含	組		11	
充填用配管 φ50		箇所		2	
表示帯		m		339.7	
ポリethyleneスリーブ φ300	固定材料含む	m		339.7	
管明示テープ (幅50mm 1巻 20m)	年号入り	巻		35	
手間		式		1	
鋳鉄管吊込み据付 (機械力)	呼び径 300mm	m		336.9	
鋳鉄管(新設管)切断工(エンジンカッター)	ダクタイル鋳鉄管 呼び径300mm	口		16	
不断水穿孔工事費 φ350×300		基		1	
不断水穿孔工事費 φ400×300		基		1	
フランジ継手 接合(呼び径 300mm)	J WWA 7.5K	口		2	
不断水バルブ設置工(鋳鉄管用) φ350		基		1	
鋳鉄製仕切弁(機械力)設置	縦型仕切弁 呼び径 300mm	基		4	

契約数量表

頁0-0006/0012

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
仕切弁ボックス設置工(H=640)	鉄蓋設置含む	箇所		3	
仕切弁ボックス設置工(H=740)	鉄蓋設置含む	箇所		4	
消火栓(地下式 単口)設置工	機械施工 フランジ 接合1口含む	箇所		1	
フランジ継手 接合(呼び径 75(80)mm)	J W W A 7.5K	口		3	
消火栓ボックス設置工(H=640)	鉄蓋設置含む	箇所		1	
G X継手接合(呼び径 300mm)	直管	口		55	
G X継手接合(呼び径 300mm)	P-Linkの接合	口		1	
G X継手接合(呼び径 300mm)	G-Linkの接合	口		24	
G X継手接合(呼び径 300mm)	異形管	口		32	
G X継手接合(呼び径 400mm)	異形管	口		1	
G X継手取外し(呼び径 300mm)	異形管	口		1	
充填用配管設置工 φ50		式		1	
管明示シート工		m		339.7	
ホリシールド被覆(呼び径 300mm)		m		339.7	
管明示テープ工	φ300	m		339.7	
φ300管布設土工		式		1	
土工		式		1	
舗装版切断(アスファルト舗装版)	As舗装版厚->15cm以下	m		640	

契約数量表

頁0-0007/0012

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
舗装版切断(アスファルト舗装版)	As舗装版厚→15cmを超え30cm以下	m		58	
舗装版取壊し積込工	舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	m ²		224	
舗装版破碎(アスファルト舗装版)		m ²		21	
掘削積込工		m ³		290	
掘削積込工(補助的作業なし)		m ³		5	
掘削(人力)	土砂 現場制約あり	m ³		5	
残塊処分工(アスファルト)		m ³		16	
残塊処分工(土砂)		m ³		300	
仮復旧工 [密粒度[再](13)]	厚 5cm	m ²		246	
路盤工(粒調碎石)	上層路盤 施工幅 : 1.8m 未満 仕上り厚10cm	m ²		224	
上層路盤(車道・路肩部)	水硬性粒度調整鉄鋼スラグ HMS	m ²		21	
フィルター層	t = 40mm以上60mm未満	m ²		218	
埋戻工 (埋戻し材→再生切込碎石)		m ³		110	
埋戻工 (埋戻し材→スクリーニングス)		m ³		130	
軽量鋼矢板建込引抜工 (両側分)		m		15.5	
軽量鋼矢板建込引抜工 (両側分)		m		2.5	
土留支保工 (設置+撤去)	1段	m		15.5	
土留支保工 (設置+撤去)		m		2.5	

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
鋼矢板賃料		式		1	
アルミ矢板支保工賃料 (軽量鋼矢板2.0m用)					
アルミ矢板支保工賃料 (軽量鋼矢板2.5m用)					
鋼矢板賃料					
鋼矢板整備費					
付帯工		式			
既設管撤去工		式		1	
既設管撤去材料		式		1	
DK 帽 φ350	特殊押輪, 接合材含む	個		1	
DK 帽 φ400	特殊押輪, 接合材含む	個		1	
既設管撤去手間		式		1	
鋳鉄管吊込み撤去 (機械力)	呼び径 75mm以下	m		6.5	
鋳鉄管吊込み撤去 (機械力)	呼び径 350mm	m		7	
鋳鉄管吊込み撤去 (機械力)	呼び径 400mm	m		9.2	
鋳鉄管(既設管)撤去切断工(エンジンカッター)	ダクタイル鋳鉄管 呼び径75mm	口		3	
鋳鉄管(既設管)撤去切断工(エンジンカッター)	ダクタイル鋳鉄管 呼び径350mm	口		5	
鋳鉄管(既設管)撤去切断工(エンジンカッター)	ダクタイル鋳鉄管 呼び径400mm	口		5	
G X継手取外し(呼び径 75mm)	異形管	口		1	

契約数量表

頁0-0009/0012

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
NS継手 取外し(呼び径 400mm)	直管	口		1	
メカニカル継手 接合(呼び径 350mm)	継手:K形 特殊押輪補正あり	口		1	
メカニカル継手 接合(呼び径 400mm)	継手:K形 特殊押輪補正あり	口		1	
既設円形1号ボックス撤去工	鉄蓋撤去含む	箇所		2	
既設円形3号ボックス撤去工	鉄蓋撤去含む	箇所		2	
現場発生品・支給品運搬		回		1	
現場発生品・支給品運搬		回		1	
処分費(廃プラスチック類)		t		0.3	
モルタル充填工		m3		38.5	
撤去土工		式		1	
舗装版切断(アスファルト舗装版)	As舗装版厚->15cm以下	m		6	
舗装版切断(アスファルト舗装版)	As舗装版厚->15cmを超え30cm以下	m		29	
舗装版取壊し積込工	舗装厚=>0cm越え 10cm以下	m2		2	
舗装版破碎(アスファルト舗装版)		m2		17	
掘削積込工		m3		24	
残塊処分工(アスファルト)		m3		4	
残塊処分工(土砂)		m3		24	
仮復旧工 [密粒度[再](13)]	厚 5cm	m2		19	

契約数量表

頁0-0010/0012

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
路盤工(粒調碎石)	上層路盤 施工幅:1.8m 未満 仕上り厚10cm	m2		2	
上層路盤(車道・路肩部)	水硬性粒度調整鉄鋼スラグ HMS	m2		17	
フィルター層	t =40mm以上60mm未満	m2		2	
埋戻工(埋戻し材→再生切込碎石)		m3		25	
軽量鋼矢板建込引抜工(両側分)		m		16.2	
土留支保工(設置+撤去)	1段	m		16.2	
鋼矢板賃料		式		1	
アルミ矢板支保工賃料(軽量鋼矢板2.0m用)					
鋼矢板賃料					
鋼矢板整備費					
舗装復旧工		式		1	
アスファルト2層式(車道)		式		1	
舗装版切断(アスファルト舗装版)	As舗装版厚→15cm以下	m		61	
舗装版取壊し積込工	舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	m2		270	
掘削積込工		m3		2	
残塊処分工(アスファルト)		m3		25	
残塊処分工(土砂)		m3		2	
不陸整正	補足材料→有り(29mm以上34mm未満)	m2		270	

契約数量表

頁0-0011/0012

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
基層(車道・路肩部)	t = 5 0 mm	m2		270	
表層(車道・路肩部)	t = 5 0 mm	m2		270	
アスファルト1層式(車道)		式		1	
舗装版切断(アスファルト舗装版)	As舗装版厚->15cm以下	m		6	
舗装版取壊し積込工	舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	m2		46	
残塊処分工(アスファルト)		m3		2	
不陸整正工(粒調碎石)	施工幅：1.8m 以上、補足材厚3cm	m2		46	
表層(車道・路肩部)	t = 5 0 mm	m2		46	
アスファルト1層式(歩道)		式		1	
舗装版切断(アスファルト舗装版)	As舗装版厚->15cm以下	m		22	
舗装版取壊し積込工	舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	m2		1,350	
残塊処分工(アスファルト)		m3		67	
不陸整正工(粒調碎石)	施工幅：1.8m 以上、補足材厚3cm	m2		1,350	
透水性アスファルト舗装	t = 5 0 mm	m2		1,350	
区画線工		式		1	
一般舗装部		式		1	
区画線設置 [熔融式]	実線 15cm t=1.5mm	m		6	
区画線設置 [熔融式]	実線 45cm t=1.5mm	m		30	

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
区画線設置 [溶融式]	実線 15cm t=1.5mm	m		2	
交通誘導員設置		式		1	
交通誘導員		式		1	
交通誘導員設置		式		1	
交通誘導警備員 B					
仮設材運搬費		式		1	
仮設材等の運搬					
仮設材等の積み込み・取卸し					
試掘調査		式		1	
試掘調査工					
通水試験費		式		1	
通水試験費	給水車不要の場合	回		1	
スクラップ控除		式		1	
鉄屑	故銑 B	t		1.5	

φ75配水管(材料)

直管・切管使用状況(切管の詳細は切管調書)			本数	延長	備考	
切管使用本数			1	2.300		
乙切管①	DGX-G-S		1	1.000		
乙切管②	DG-G-S		1	1.300		
名称・形質等			管長	当初		備考
				数量	延長	
DGX-S	直管関係	φ75		1	2.300	
DGX	挿受片落管	φ100×φ75	0.410	1	0.410	
DGX	曲管	φ75×45°	0.397	2	0.794	
DGX	継輪	φ75	0.190	1	0.190	
	簡易バルブ付耐震型割T字管	φ75×φ75		1		密着コア含む
GX形	ソフトシール仕切弁(両受型)	φ75	0.180	1	0.180	
	仕切弁ボックス	H=640		1		
GX形	G-Linkセット	φ75		4		
GX形	接続部品	φ75		4		
GX形	接続部品	φ100		1		
DGX	栓(異形管用)	φ75		1		
	表示帯			3.9		
	ポリエチレンスリーブ	φ75		3.9		
	管明示テープ(区間距離×1.33/20=)			1		
管材料延長計				3.874		

DGX-S φ 75切管調書

直管 4.0 m

切管 番号		延長	甲切管	乙切管②		乙切管①		管延長	残管 延長	切断数	G-Link	P-Link	特殊押輪				
				1	2								K形	A形			
1	2	4.00		DG- G	1.30	DGX-G	1.00	2.30	1.70	2	3						
既設管接続箇所											1						
計								2.30	1.70	2	4						

φ75配水管(手間)

名称・形質等		数量	摘要
鑄鉄管吊込み据付工	φ75	3.7 m	区間距離-仕切弁延長計
鑄鉄管切断工	φ75	2 口	
耐震型T字管穿孔工	φ75×φ75	1 箇所	
仕切弁設置工	φ75	1 箇所	
仕切弁ボックス設置工	H=640	1 箇所	
GX継手工(異形管接合 G-Link使用)	φ75	4 口	
GX継手工(異形管接合)	φ75	5 口	栓設置含む
GX継手工(異形管接合)	φ100	1 口	
管明示シート工		3.9 m	
ポリエチレンスリーブ被覆工	φ75	3.9 m	
管明示テープ工	φ75	3.9 m	

φ 75配水管土工集計表

	全体	土工無	土工1	土工2
土被			0.8	0.8
延長 箇所等	3.9		3.9	
会所掘 箇所	4		4	

工 種	合計 数量	採用 数量	単位	土工1	土工2
舗装版切断(As) t≤15cm	11.80	12	m	7.80	4.00
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	3.34	3	m ²	2.34	1.00
掘削積込工	2.46	2	m ³	2.46	
掘削積込工(補助的作業なし)	0.55	0.6	m ³		0.55
掘削(人力)	0.59	0.6	m ³		0.59
残塊処分工(As)	0.17	0.2	m ³	0.12	0.05
残塊処分工(土砂)	3.60	4	m ³	2.46	1.14
仮復旧工(密粒度(再)(13))	3.34	3	m ²	2.34	1.00
路盤工(粒調碎石) t=10cm	3.34	3	m ²	2.34	1.00
フィルター層(砂) t=5cm	3.34	3	m ²	2.34	1.00
埋戻工(再生碎石)	1.34	1	m ³	0.94	0.40
埋戻工(スクリーニングス)	1.74	2	m ³	1.15	0.59

φ75配水管(土工1)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	歩道As5cm	As5cm	粒調碎石 10cm	フィルター層5cm

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-S φ75	0.093	0.007

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
3.9	0.60	0.80	0.05	4	1.00	矢板無

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.05			3.9 ×	2	7.80
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.05	0.60		×	3.9	2.34
掘削積込工 (管断面控除)	0.95	0.60 × + 0.60 ×	0.95 × 0.20 ×	3.9 0.50 ×	4	2.46
残塊処分工(As)				2.34 ×	0.05	0.12
残塊処分工(土砂)				掘削積込工と同量		2.46
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.60		×	3.9	2.34
路盤工(粒調碎石)	0.10	0.60		×	3.9	2.34
フィルター層(砂)	0.05	0.60		×	3.90	2.34
埋戻工(再生碎石)	0.40	0.60 ×	0.40 ×	3.9		0.94
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.40	0.60 × + 0.60 × - 0.007	0.40 × 0.20 × ×	3.9 0.50 × 3.9	4	1.15

φ75×75割丁字管(土工2)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行仮路盤	先行路盤
昼間施工	市道	歩道As5cm	As5cm	粒調碎石 10cm	フィルター層5cm

施工管種

分岐元管種	分岐口径	管外径	管断面積
鑄鉄管 φ75	75	0.093	0.007

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	管下掘削深	土被り(d1)	掘削深(H)	既設舗装厚	矢板
1.00	1.00	0.30	0.80	1.20	0.05	矢板無

工種	施工厚	計算式			数量	1箇所計
		幅等	厚	延長 箇所等		
舗装版切断(As) t≤15cm	0.05	1.00 ×	2 +	1.00 × 2	4.00	4.00
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.05	1.00	×	1.00	1.00	1.00
掘削積込工(補助の作業なし)	0.55	1.00 ×	0.55 ×	1.00	0.55	0.55
掘削(人力) (管断面控除)	0.60	1.00 × - 0.007	0.60 × ×	1.00 1.00	0.59	0.59
残塊処分工(As)		1.00 ×	0.05		0.05	0.05
残塊処分工(土砂)		0.55 +	0.59		1.14	1.14
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	1.00	×	1.00	1.00	1.00
路盤工(粒調碎石)	0.10	1.00	×	1.00	1.00	1.00
路盤工(再生碎石)						
フィルター層(砂)	0.05	1.00	×	1.00	1.00	1.00
埋戻工(再生碎石)	0.40	1.00 ×	0.40 ×	1.00	0.40	0.40
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.60	1.00 × - 0.007	0.60 × ×	1.0 1.0	0.59	0.59

φ 300配水管(材料)

直管・切管使用状況(切管の詳細は切管調書)			本数	延長	備考	
直管 (L= 6.0 m)			48	288.000		
切管使用本数			7	30.200		
甲切管	DGX-P-S		1	1.500		
	DGX-G-S		6	11.700		
乙切管①	DGX-G-S		7	11.000		
乙切管②	DG-G-S		5	7.500		
名称・形質等			管長	当初		
				数量	延長	
DGX-S	直管関係	φ 300		55	318.200	
DGX	曲管	φ 300×45°	0.560	19	10.640	
DGX	曲管	φ 300×22° 1/2	0.469	3	1.407	
DGX	両受曲管	φ 300×45°	0.250	7	1.750	
DGX	両受曲管	φ 300×22° 1/2	0.169	1	0.169	
DGX	乙字管	φ 300×H300	1.135	1	1.135	
DGX	二受T字管	φ 300×φ 100	0.480	1	0.480	
DGX	二受T字管	φ 300×φ 300	0.790	2	1.580	
DGX	フランジ付T字管	φ 300×φ 75	0.460	1	0.460	
DGX	継輪	φ 300	0.300	2	0.600	
DGX	短管1号	φ 300	0.100	2	0.200	
DGX	栓(異形管用)	φ 300		1	0.000	
DNS	栓(異形管用)	φ 400		1	0.000	
	ソフトシール仕切弁付割T字管	φ 350×φ 300		1		
	ソフトシール仕切弁付割T字管	φ 400×φ 300		1		
	フランジ耐震金具(3DKN)	φ 300		2		
	不断水簡易バルブ	φ 350		1		
GX形	ソフトシール仕切弁(受挿型)	φ 300	0.700	4	2.800	
	仕切弁ボックス	H=640		3		
	仕切弁ボックス	H=740		4		
	ケルプ式消火栓(単口)	φ 75×φ 65		1		
	フランジ短管	φ 75×100		2		
	補修弁(キャップ式)	φ 75×100		1		
	フランジ継手材(LSP形)	φ 75		4		
	フランジ継手材(LSP形)	φ 300		2		
	消火栓室	H=640		1		
GX形	P-Linkセット	φ 300	0.267	1	0.267	
GX形	G-Linkセット	φ 300		24		
GX形	接続部品	φ 300		31		
GX形	ライナ	φ 300		11		
	充填用配管	φ 50		2		
	表示帯			339.7		
	ポリエチレンスリーブ	φ 300		339.7		
	管明示テープ(区間距離×2.02/20=)			35		
管材料延長計				339.688		

DGX-S φ 300切管調書

直管 6.0 m

切管番号				延長	甲切管		乙切管②		乙切管①		管延長	残管 延長	切斷数	G-Link	P-Link	特殊押輪		
							1	2								K形	A形	
1	8		13	6.00	DGX-G	1.00	DG- G	2.00	DGX-G	3.00	6.00		2	4				
2	9	12	14	6.00	DGX-G	1.50	DG- G	1.00	DG- G	2.00	DGX-G	1.50	6.00	3	6			
3	10		15	6.00	DGX-G	2.30	DG- G	1.00	DGX-G	1.00	4.30	1.70	3	4				
4	11		16	6.00	DGX-P	1.50	DG- G	1.50	DGX-G	1.50	4.50	1.50	3	3	1			
5			17	6.00	DGX-G	4.00			DGX-G	2.00	6.00		1	2				
6			18	6.00	DGX-G	1.50			DGX-G	1.00	2.50	3.50	2	2				
7			19	6.00	DGX-G	1.40			DGX-G	1.00	2.40	3.60	2	2				
既設管接続箇所														1				
計											31.70	10.30	16	24	1			

φ 300配水管(手間)

名称・形質等	当初 数量	摘要
鋳鉄管吊込み据付工 φ 300	336.9 m	区間距離-仕切弁延長計
鋳鉄管切断工 φ 300	16 口	
不断水連絡工 φ 350 × φ 300	1 箇所	
不断水連絡工 φ 400 × φ 300	1 箇所	
フランジ継手工 φ 300	2 箇所	割丁字管箇所
不断水バルブ設置工 φ 350	1 箇所	
仕切弁設置工 φ 300	4 箇所	
仕切弁ボックス設置工 H=640	3 箇所	
仕切弁ボックス設置工 H=740	4 箇所	
消火栓設置工	1 箇所	フランジ継手工 φ 75 1口含む
フランジ継手工 φ 75	3 口	消火栓・空気弁箇所
消火栓ボックス設置工 H=640	1 箇所	
GX継手工(直管接合) φ 300	55 口	
GX継手工(異形管接合 P-Link使用) φ 300	1 口	
GX継手工(異形管接合 G-Link使用) φ 300	24 口	
GX継手工(異形管接合) φ 300	32 口	栓設置含む
GX継手工(異形管接合) φ 400	1 口	栓設置含む
栓撤去工 φ 300	1 口	
充填用配管工 φ 50	1 式	
管明示シート工	339.7 m	
ポリエチレンスリーブ被覆工 φ 300	339.7 m	
管明示テープ工 φ 300	339.7 m	

φ 300配水管土工集計表

	全体	土工無	土工1	土工2	土工3	土工4	土工5	土工6	土工7	土工8
土被			1.2	0.8	0.8	1.2	1.8	1.2	1.2	1.2
延長 箇所等	339.7		6.0	20.3	307.9	3.0	2.5			
会所掘 箇所	27		3	7	12	1	4			

工 種	合計 数量	採用 数量	単位	土工1	土工2	土工3	土工4	土工5	土工6	土工7	土工8
舗装版切断(As) t≤15cm	638.40	640	m	12.00		615.80	6.00			4.60	
舗装版切断(As) 15<t≤30cm	58.00	58	m		40.60			5.00	7.80		4.60
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	224.48	224	m2	5.10		215.53	2.55			1.30	
舗装版破碎(As) 15<t≤35cm	21.32	21	m2		14.21			2.13	3.68		1.30
掘削積込工	286.37	290	m3	8.19	14.88	254.75	4.07	4.48			
掘削積込工(補助的作業なし)	5.22	5	m3						2.94	1.24	1.04
掘削(人力)	5.01	5	m3						2.99	1.02	1.00
残塊処分工(As)	15.51	16	m3	0.26	2.84	10.78	0.13	0.43	0.74	0.07	0.26
残塊処分工(土砂)	296.60	300	m3	8.19	14.88	254.75	4.07	4.48	5.93	2.26	2.04
仮復旧工(密粒度(再)(13)) t=5cm	245.80	246	m2	5.10	14.21	215.53	2.55	2.13	3.68	1.30	1.30
路盤工(粒調碎石) t=10cm	224.48	224	m2	5.10		215.53	2.55			1.30	
路盤工(水硬性スラグ) t=15cm	21.32	21	m2		14.21			2.13	3.68		1.30
フィルター層(砂) t=5cm	218.08	218	m2			215.53	2.55				
埋戻工(再生碎石)	106.34	110	m3	4.34	5.68	86.21	2.04	2.98	2.94	1.11	1.04
埋戻工(スクリーニングス)	129.05	130	m3	2.85	7.53	110.96	1.40	1.30	2.99	1.02	1.00
軽量鋼矢板設置撤去工 H=2.0m	15.50	15.5	m	6.00			3.00		3.90	1.30	1.30
軽量鋼矢板設置撤去工 H=2.5m	2.50	2.5	m					2.50			

φ 300配水管(土工1)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	車道As5cm	As5cm	粒調碎石 10cm	

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-S φ 300	0.323	0.082

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
6.0	0.85	1.20	0.05	3	1.63	矢板有

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.05			6.0 × 2	12.00
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.05	0.85		× 6.0	5.10
掘削積込工 (管断面控除)	1.58	0.85 × + 0.85 ×	1.58 × 0.10 ×	6.0 0.50 × 3	8.19
残塊処分工(As)			5.10 ×	0.05	0.26
残塊処分工(土砂)			掘削積込工と同量		8.19
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.85		× 6.0	5.10
路盤工(粒調碎石)	0.10	0.85		× 6.0	5.10
埋戻工(再生碎石)	0.85	0.85 ×	0.85 ×	6.0	4.34
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.63	0.85 × + 0.85 × - 0.082	0.63 × 0.10 × ×	6.0 0.50 × 3 6.0	2.85
軽量鋼矢板設置撤去工	H=2.0		6.0		6.00

φ300配水管(土工2)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	車道As20cm	As5cm	水硬性スラク	15cm

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-Sφ300	0.323	0.082

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
20.3	0.70	0.80	0.20	7	1.23	矢板無

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版切断(As) 15cm<t≤30cm	0.20			20.3 ×	2	40.60
舗装版破碎(As) 15<t≤35cm	0.20	0.70		× 20.3		14.21
掘削積込工 (管断面控除)	1.03	0.70 × + 0.70 ×	1.03 × 0.10 ×	20.3 0.50 ×	7	14.88
残塊処分工(As)			14.21 ×	0.20		2.84
残塊処分工(土砂)			掘削積込工と同量			14.88
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.70		× 20.3		14.21
路盤工(水硬性スラク)	0.15	0.70		× 20.3		14.21
埋戻工(再生碎石)	0.40	0.70 ×	0.40 ×	20.3		5.68
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.63	0.70 × + 0.70 × - 0.082	0.63 × 0.10 × ×	20.3 0.50 × 20.3	7	7.53

φ300配水管(土工3)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	歩道As5cm	As5cm	粒調碎石 10cm	フィルター層5cm

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-Sφ300	0.323	0.082

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
307.9	0.70	0.80	0.05	12	1.23	矢板無

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.05			307.9 × 2	615.80
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.05	0.70		× 307.9	215.53
掘削積込工 (管断面控除)	1.18	0.70 × + 0.70 ×	1.18 × 0.10 ×	307.9 0.50 × 12	254.75
残塊処分工(As)				215.53 × 0.05	10.78
残塊処分工(土砂)				掘削積込工と同量	254.75
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.70		× 307.9	215.53
路盤工(粒調碎石)	0.10	0.70		× 307.9	215.53
フィルター層(砂)	0.05	0.70		× 307.90	215.53
埋戻工(再生碎石)	0.40	0.70 ×	0.40 ×	307.9	86.21
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.63	0.70 × + 0.70 × - 0.082	0.63 × 0.10 × ×	307.9 0.50 × 12 307.9	110.96

φ 300配水管(土工4)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	歩道As5cm	As5cm	粒調碎石 10cm	フィルター層5cm

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-S φ 300	0.323	0.082

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
3.0	0.85	1.20	0.05	1	1.63	矢板有

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.05			3.0 ×	2	6.00
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.05	0.85		×	3.0	2.55
掘削積込工 (管断面控除)	1.58	0.85 × + 0.85 ×	1.58 × 0.10 ×	3.0 0.50 ×	1	4.07
残塊処分工(As)			2.55 ×	0.05		0.13
残塊処分工(土砂)			掘削積込工と同量			4.07
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.85		×	3.0	2.55
路盤工(再生碎石)						
フィルター層(砂)	0.05	0.85		×	3.00	2.55
埋戻工(再生碎石)	0.80	0.85 ×	0.80 ×	3.0		2.04
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.63	0.85 × + 0.85 × - 0.082	0.63 × 0.10 × ×	3.0 0.50 × 3.0	1	1.40
軽量鋼矢板設置撤去工	H=2.0		3.0			3.00

φ300配水管(土工5)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	車道As20cm	As5cm	水硬性スラク	15cm

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-Sφ300	0.323	0.082

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
2.5	0.85	1.80	0.20	4	2.23	矢板有

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版切断(As) 15cm<t≤30cm	0.20			2.5 ×	2	5.00
舗装版破碎(As) 15<t≤35cm	0.20	0.85		×	2.5	2.13
掘削積込工 (管断面控除)	2.03	0.85 × + 0.85 ×	2.03 × 0.10 ×	2.5 0.50 ×	4	4.48
残塊処分工(As)			2.13 ×	0.20		0.43
残塊処分工(土砂)			掘削積込工と同量			4.48
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.85		×	2.5	2.13
路盤工(水硬性スラク)	0.15	0.85		×	2.5	2.13
埋戻工(再生碎石)	1.40	0.85 ×	1.40 ×	2.5		2.98
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.63	0.85 × + 0.85 × - 0.082	0.63 × 0.10 × ×	2.5 0.50 × 2.5	4	1.30
軽量鋼矢板設置撤去工	H=2.5		2.5			2.50

φ350不断水バルブ(土工6)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	車道As20cm	As5cm	水硬性スラグ	15cm

施工管種

管種	管外径	管断面積
鑄鉄管φ350	0.374	0.110

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	管下掘削深	土被り(d1)	掘削深(H)	既設舗装厚	矢板
2.30	1.60	0.30	1.20	1.88	0.20	矢板有

工種	施工厚	計算式			数量	1箇所計
		幅等	厚	延長 箇所等		
舗装版切断(As) 15cm<t≤30cm	0.20	1.60 ×	2 +	2.30 × 2	7.80	7.80
舗装版破碎(As) 15<t≤35cm	0.20	1.60	×	2.30	3.68	3.68
掘削積込工(補助的作業なし)	0.80	1.60 ×	0.80 ×	2.30	2.94	2.94
掘削(人力) (管断面控除)	0.88	1.60 × — 0.110	0.88 × ×	2.30 2.30	2.99	2.99
残塊処分工(As)		3.68 ×	0.20		0.74	0.74
残塊処分工(土砂)		2.94 +	2.99		5.93	5.93
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	1.60	×	2.30	3.68	3.68
路盤工(水硬性スラグ)	0.15	1.60	×	2.30	3.68	3.68
埋戻工(再生碎石)	0.80	1.60 ×	0.80 ×	2.30	2.94	2.94
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.88	1.60 × — 0.110	0.88 × ×	2.30 2.30	2.99	2.99
軽量鋼矢板設置撤去工	H=2.0	2.3 +	1.6		3.90	3.90

φ 400 × 300割丁字管(土工7)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行仮路盤	先行路盤
昼間施工	市道	車道As5cm	As5cm	粒調碎石 10cm	

施工管種

分岐元管種	分岐口径	管外径	管断面積
鑄鉄管 φ 400	300	0.426	0.142

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	管下掘削深	土被り(d1)	掘削深(H)	既設舗装厚	矢板
1.30	1.00	0.30	1.20	1.93	0.05	矢板有

工種	施工厚	計算式			数量	1箇所計
		幅等	厚	延長 箇所等		
舗装版切断(As) t≤15cm	0.05	1.00 ×	2 +	1.30 × 2	4.60	4.60
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.05	1.00	×	1.30	1.30	1.30
掘削積込工(補助の作業なし)	0.95	1.00 ×	0.95 ×	1.30	1.24	1.24
掘削(人力) (管断面控除)	0.93	1.00 × - 0.142	0.93 × ×	1.30 1.30	1.02	1.02
残塊処分工(As)		1.30 ×	0.05		0.07	0.07
残塊処分工(土砂)		1.24 +	1.02		2.26	2.26
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	1.00	×	1.30	1.30	1.30
路盤工(粒調碎石)	0.10	1.00	×	1.30	1.30	1.30
埋戻工(再生碎石)	0.85	1.00 ×	0.85 ×	1.30	1.11	1.11
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.93	1.00 × - 0.142	0.93 × ×	1.3 1.3	1.02	1.02
軽量鋼矢板設置撤去工	H=2.0		1.3		1.30	1.30

φ 350 × 300割丁字管(土工8)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行仮路盤	先行路盤
昼間施工	市道	車道As20cm	As5cm	水硬性スラグ	15cm

施工管種

分岐元管種	分岐口径	管外径	管断面積
鑄鉄管φ350	300	0.374	0.110

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	管下掘削深	土被り(d1)	掘削深(H)	既設舗装厚	矢板
1.30	1.00	0.30	1.20	1.88	0.20	矢板有

工種	施工厚	計算式			数量	1箇所計
		幅等	厚	延長 箇所等		
舗装版切断(As) 15cm<t≤30cm	0.20	1.00 ×	2 +	1.30 × 2	4.60	4.60
舗装版破碎(As) 15<t≤35cm	0.20	1.00	×	1.30	1.30	1.30
掘削積込工(補助的作業なし)	0.80	1.00 ×	0.80 ×	1.30	1.04	1.04
掘削(人力) (管断面控除)	0.88	1.00 × - 0.110	0.88 × ×	1.30 1.30	1.00	1.00
残塊処分工(As)		1.30 ×	0.20		0.26	0.26
残塊処分工(土砂)		1.04 +	1.00		2.04	2.04
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	1.00	×	1.30	1.30	1.30
路盤工(水硬性スラグ)	0.15	1.00	×	1.30	1.30	1.30
埋戻工(再生碎石)	0.80	1.00 ×	0.80 ×	1.30	1.04	1.04
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.88	1.00 × - 0.110	0.88 × ×	1.3 1.3	1.00	1.00
軽量鋼矢板設置撤去工	H=2.0		1.3		1.30	1.30

既設管撤去

鑄鉄管吊込み撤去工

口径	延長 (m)	撤去重量 (t)	土工延長 計	土工 歩道	土工 車道		充填工 (m ³)
合計	22.7	1.5	22.7	3.2	19.5	0.0	38.5
75 0.018 t/m	6.5	0.12	6.5	土工1 3.2	土工2 3.3		
350 0.074 t/m	7.0	0.52	7.0		土工3 7		
400 0.094 t/m	9.2	0.87	9.2		土工4 9.2		38.5

鑄鉄管(既設管)撤去切断工

口径	切断箇所 計 (口)	既設管と 切断にて接 続箇所(口)	既設管連 続場所の 切断箇所 (口)	計算式
75	3		3	6.5/3
350	5	2	3	7/3
400	5	1	4	9.2/3

帽設置工

口径	DK
75	
350	1
400	1

継手取り外し工

口径	特殊押輪 (口)	GX (口)	NS (口)
75		1	
400			1

仕切弁関係

口径	仕切弁 (不断水バルブ) (基)	仕切弁ホックス (箇所)
350		1
400		1
合計	0	2

空気弁・消火栓関係

口径	空気弁・消 火栓 (基)	空気弁・消 火栓ホックス (箇所)
350		
400		2
合計	0	2

鉄蓋受枠部14kg/箇所
ホックス部41kg/箇所

鉄蓋受枠部50kg/箇所
ホックス部92kg/箇所

	管類	仕切弁関係	消火栓関係	計(t)	運搬回数
スクラップ処分	1.5	0	0	1.5	1
廃プラスチック類		0.082	0.184	0.3	1

既設管撤去土工集計表

工 種	合計 数量	採用 数量	単位	土工1	土工2	土工3	土工4
舗装版切断(As) t≤15cm	6.40	6	m	6.40			
舗装版切断(As) 15<t≤30cm	28.70	29	m		3.30	7.00	18.40
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	1.92	2	m ²	1.92			
舗装版破碎(As) 15<t≤35cm	17.48	17	m ²		1.98	6.30	9.20
掘削積込工	24.30	24	m ³	1.61	2.15	8.69	11.85
残塊処分工(As)	3.60	4	m ³	0.10	0.40	1.26	1.84
残塊処分工(土砂)	24.30	24	m ³	1.61	2.15	8.69	11.85
仮復旧工(密粒度(再)(13)) t=5cm	19.40	19	m ²	1.92	1.98	6.30	9.20
路盤工(粒調碎石) t=10cm	1.92	2	m ²	1.92			
路盤工(水硬性スラグ) t=15cm	17.48	17	m ²		1.98	6.30	9.20
フィルター層(砂) t=5cm	1.92	2	m ²	1.92			
埋戻工(再生碎石)	25.37	25	m ³	1.34	2.18	8.69	13.16
軽量鋼矢板設置撤去工(H=2.0m)	16.20	16.2	m			7.00	9.20

既設管撤去 土工1

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	歩道As5cm	As5cm	粒調碎石 10cm	フィルター層5cm

既設管

管種	撤去延長
鑄鉄管 φ75	3.2

平均土被り	掘削幅(W)	既設舗装厚	管外径	管断面積	掘削深	矢板	平均土被り根拠
0.80	0.60	0.05	0.093	0.007	0.90	矢板無	

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.05			3.2 × 2	6.40
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.05	0.60		× 3.2	1.92
掘削積込工 (管断面控除)	0.85	0.60 × - 0.007		0.85 × × 3.2	1.61
残塊処分工(As)				1.92 × 0.05	0.10
残塊処分工(土砂)				掘削積込工と同量	1.61
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.60		× 3.2	1.92
路盤工(粒調碎石)	0.10	0.60		× 3.2	1.92
フィルター層(砂)	0.05	0.60		× 3.2	1.92
埋戻工(再生碎石)	0.70	0.60 ×	0.70 ×	3.2	1.34

既設管撤去 土工2

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	車道As20cm	As5cm	水硬性スラグ	15cm

既設管

管種	撤去延長
鑄鉄管 φ75	3.3

平均土被り	掘削幅(W)	既設舗装厚	管外径	管断面積	掘削深	矢板	平均土被り根拠
1.20	0.60	0.20	0.093	0.007	1.30	矢板無	

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) 15<t≤30cm	0.20			3.3 × 1	3.30
舗装版破碎(As) 15<t≤35cm	0.20	0.60		× 3.3	1.98
掘削積込工 (管断面控除)	1.10	0.60 × - 0.007	1.10 ×	3.3 × 3.3	2.15
残塊処分工(As)		1.98 ×	0.20		0.40
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			2.15
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.60		× 3.3	1.98
路盤工(水硬性スラグ)	0.15	0.60		× 3.3	1.98
埋戻工(再生碎石)	1.10	0.60 ×	1.10 ×	3.3	2.18

既設管撤去 土工3

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	車道As20cm	As5cm	水硬性スラグ	15cm

既設管

管種	撤去延長
鑄鉄管 φ 350	7.0

平均土被り	掘削幅(W)	既設舗装厚	管外径	管断面積	掘削深	矢板	平均土被り根拠
1.20	0.90	0.20	0.374	0.110	1.58	矢板有	

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) 15<t≤30cm	0.20			7.0 × 1	7.00
舗装版破碎(As) 15<t≤35cm	0.20	0.90		× 7.0	6.30
掘削積込工 (管断面控除)	1.38	0.90 ×	1.38 ×	7.0 ×	8.69
残塊処分工(As)		6.30 ×	0.20		1.26
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			8.69
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.90		× 7.0	6.30
路盤工(水硬性スラグ)	0.15	0.90		× 7.0	6.30
埋戻工(再生碎石)	1.38	1 ×	1.38 ×	7.0	8.69
軽量鋼矢板設置撤去工	H=2.0	7.0			7.00

既設管撤去 土工4

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	車道As20cm	As5cm	水硬性スラグ	15cm

既設管

管種	撤去延長
鑄鉄管 φ400	9.2

平均土被り	掘削幅(W)	既設舗装厚	管外径	管断面積	掘削深	矢板	平均土被り根拠
1.20	1.00	0.20	0.426	0.142	1.63	矢板有	

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) $t \leq 15\text{cm}$	0.20			9.2×2	18.40
舗装版取壊し積込工(As・Co) $t \leq 10\text{cm}$	0.20	1.00		$\times 9.2$	9.20
掘削積込工 (管断面控除)	1.43	$1.00 \times$ $- 0.142$	$1.43 \times$ \times	9.2 9.2	11.85
残塊処分工(As)		$9.20 \times$	0.20		1.84
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			11.85
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	1.00		$\times 9.2$	9.20
路盤工(水硬性スラグ)	0.15	1.00		$\times 9.2$	9.20
埋戻工(再生碎石)	1.43	$1.00 \times$	$1.43 \times$	9.2	13.16
軽量鋼矢板設置撤去工	H=2.0	9.2			9.20

舗装復旧関係

市道車道As2層式10cm(打替)

仮復旧面積	採用面積	本復旧面積	採用面積
38.80	39	266.7	270

※数量計算書より

工種	施工厚等	計算式	数量	採用数量	単位
舗装版切断(As) t≤15cm	0.10	16.9 + 4.0 + 6.0 + 4.0 8.0 + 14.5 + 8.0	61.4	61	m
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm		266.7	266.7	270	m ²
掘削積込工	0.05	38.8 × 0.05	1.9	2	m ³
残塊処分工(As)		38.8 × 0.05 + 266.7 - 38.80 × 0.1	24.7	25	m ³
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量	1.9	2	m ²
不陸整正工(水硬性スラフ)	0.03	266.7	266.7	270	m ²
舗装工(粗粒度(再)(20)、PK-3)	0.05	266.7	266.7	270	m ²
舗装工(密粒度(再)(13)、PK-4)	0.05	266.7	266.7	270	m ²

市道車道As1層(t=5cm)

施工面積	採用面積
45.6	46

工種	施工厚等	計算式	数量	採用数量	単位
舗装版切断(As) t≤15cm	0.05	6.1	6.1	6	m
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.05	45.6	45.6	46	m ²
残塊処分工(As)		45.6 × 0.05	2.3	2	m ³
不陸整正工(粒調碎石)	0.03	45.6	45.6	46	m ²
舗装工(密粒度(再)(13)、PK-3)	0.05	45.6	45.6	46	m ²

市道歩道As(t=5cm)

施工面積	採用面積
1347.8	1350

工種	施工厚等	計算式	数量	採用数量	単位
舗装版切断(As) t≤15cm	0.05	5.6 + 4.3 + 4.0 + 4.0 + 4.0	21.9	22	m
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.05	1347.8	1347.8	1350	m ²
残塊処分工(As)		1347.8 × 0.05	67.4	67	m ³
不陸整正工(粒調碎石)	0.03	1347.8	1347.8	1350	m ²
舗装工(開粒度(新)(13))	0.05	1347.8	1347.8	1350	m ²

区画線関係

舗装部

工種	細別	計算式	数量	採用数量	単位
実線 W=15cm 白	外側線		6.0	6	m
実線 W=45cm 白	停止帯			30	m
	横断歩道		30.0		
実線 W=15cm 黄	消火栓廻り		2.2	2	m
			合計延長	38	m

特記仕様書
(令和4年度 立石1丁目ほか地内配水管布設替工事)

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章																																					
1	<p>一般共通事項</p> <p>※ 1 現場代理人の兼務</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1 本工事については、本工事以外の工事の現場代理人の兼務を認めない。</p> <p>2 合併工事</p> <p style="padding-left: 20px;">1 本工事は、下水道整備課発注工事との合併工事である。 施工前に工程を充分検討し、工事が円滑に進むよう調整すること。</p> <p>3 近接工事</p> <p style="padding-left: 20px;">1 本工事は、 の関連工事である。関連他業者との連絡を密にし、互いの工事の影響が少ないように 工程管理すること。</p> <p>※ 4 占用関係</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding-left: 20px;">1 国道()</td> <td style="width: 5%; border-left: 1px solid black;"></td> <td style="width: 45%; padding-left: 20px;">2 県道()</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">③ 市道()</td> <td style="border-left: 1px solid black;"></td> <td style="padding-left: 20px;">4 法定外道路()</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">⑤ 港湾()</td> <td style="border-left: 1px solid black;"></td> <td style="padding-left: 20px;">6 河川()</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">7 その他()</td> <td style="border-left: 1px solid black;"></td> <td></td> </tr> </table> <p style="padding-left: 40px;">上記のチェックが入っている占用について、監督員と協議して必要な書類を提出すること。</p> <p>※ 5 協議関係(上記占用以外)</p> <p style="padding-left: 20px;">1 鉄道等()</p> <p style="padding-left: 20px;">2 バス道等()</p> <p style="padding-left: 20px;">3 学校関係()</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 4 その他(店舗)</p> <p style="padding-left: 40px;">上記1～4のいずれかにチェックが入っている場合は、各関係者に施工内容や時期を報告し、場合によっては施工協議をする必要も出てくるので、監督員と充分協議すること。</p> <p>※ 6 工事の範囲</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1 当該工事予定範囲について、地元要望等及び現地の状況により、施工範囲の増減が生じる可能性がある。その場合は、協議のうえ設計変更の対象とする。</p> <p>※ 7 交通誘導警備員</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1 交通誘導警備員の人数は、下表のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">種類</th> <th style="width: 15%;">合計</th> <th style="width: 15%;">布設替</th> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 15%;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>170名</td> <td>170名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>170名</td> <td>170名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>0名</td> </tr> </tbody> </table> <p style="padding-left: 20px;">※ 1日1現場当り4名(標準)</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1日1現場当り店舗前 5名</p> <p style="padding-left: 40px;">1日1現場当り十字交差点部6名</p> <p style="padding-left: 40px;">その他1日1現場当り追加 1名(バス停)</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 道路管理者及び警察署との協議及び地元要望等に伴い、上記の配置員数に増減が生じた場合は、協議のうえ設計変更の対象とする。また、その配置を監督員と協議すること。</p> <p style="padding-left: 20px;">なお、交通誘導員A、Bの定義は次のとおりとする。</p> <p style="padding-left: 40px;">交通誘導警備員A;警備業者の警備員(警備業法第2条第4項に規定する警備員を言う。)で、交通誘導警備業務(警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務をいう。)に従事する交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員</p>	1 国道()		2 県道()	③ 市道()		4 法定外道路()	⑤ 港湾()		6 河川()	7 その他()			種類	合計	布設替				A	0名	0名	0名	0名	0名	B	170名	170名	0名	0名	0名	合計	170名	170名	0名	0名	0名
1 国道()		2 県道()																																			
③ 市道()		4 法定外道路()																																			
⑤ 港湾()		6 河川()																																			
7 その他()																																					
種類	合計	布設替																																			
A	0名	0名	0名	0名	0名																																
B	170名	170名	0名	0名	0名																																
合計	170名	170名	0名	0名	0名																																

特記仕様書
(令和4年度 立石1丁目ほか地内配水管布設替工事)

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
	<p style="text-align: center;">交通誘導警備員B;警備業者の警備員で交通誘導警備員A以外の交通の誘導に従事するもの</p> <p>※ 8 低入札調査基準価格または最低制限価格の算定方法について</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 1 低入札調査基準価格または最低制限価格の算定については、スクラップ控除を直接工事費に含めて算定している。</p> <p>※ 9 断水作業及び管内清掃作業等に伴う弁栓類操作および放水作業について</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 1 受注者は、弁栓類操作および放水作業にかかる作業員を用意すること。</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 2 上記作業については、監督員または水道局職員の指導のもと、受注者が行うものとする。</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 3 上記作業に伴い濁水等が発生した場合は直ちに監督員に連絡の上、監督員の作業指示に従い、監督員と協力の上、濁水等の処理を行うこと。</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 4 受注者は、上記作業に伴う放水用器具を1セット用意すること。 (放水用器具1セット:消火栓スタンド,バルブキー2本,放水用ホース)</p> <p>※ 10 工事日報について</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 1 工事日報は該当箇所作業後、該当箇所の日報を2週間以内にセンター監督員に提出すること。</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 2 工事日報は以下の工種について提出するものとする。</p> <p style="margin-left: 4em;">① 試掘工 ② 仮配水管, 仮給水管布設撤去工</p> <p style="margin-left: 4em;">③ 水道本管布設撤去工(残置処理配管共)</p> <p style="margin-left: 4em;">④ 給水管布設工 ⑤ 水圧試験</p> <p style="margin-left: 4em;">⑥ 白紙様式3枚(検査合格報告書分)</p> <p style="margin-left: 2em;">なお、提出工種に疑義が生じた場合は、監督員と協議の上、提出内容を決定すること。</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 3 その他内容については、水道工事標準仕様書(6.提出書類)に基づくものとする。</p> <p>※ 11 その他事項</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 1 設計図書とは、明石市水道局工事請負契約約款第1条に規定する設計図書及び工事設計書のことをいう。</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 2 工期については、配水管布設替工事については契約締結日の翌日から令和5年3月10日までとしている。 また、令和5年3月10日以上の工期延期については、協議により決定するものとする。</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 3 当該工事設計書は令和3年度水道施設整備費に係る歩掛表に基づいて積算している。</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 4 間接工事費等の算定における管材費には、従来の材料に加えて仮配管も含めている。</p>

章	
2	<p>管きょ工</p> <p>※ 1 使用材料</p> <p style="margin-left: 2em;">※ 1 使用材料確認願(様式29-1)には、明石市水道工事標準仕様書4.1に記載している指定品及びその他土木工事等材料を記載すること。 添付書類は、県土整備部指定様式のほか、使用するメーカーの日本水道協会検査工場登録通知書、構造図(承認図)(不断水バルブ、割T字管(付属バルブ)、特殊な仕切弁、消火栓、空気弁、補修弁、排泥弁、止水栓、バルブ分水栓、その他監督員が必要と認める材料)とする。</p>

特記仕様書
(令和4年度 立石1丁目ほか地内配水管布設替工事)

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
	<p>※ 2 土木工事承諾願(様式30-1)には、指定品以外の水道材料及び受注者が監督員に承諾を求める材料を記載すること。 添付書類は、県土整備部指定様式のほか、水道材料については、使用するメーカーの日本水道協会検査工場登録通知書と構造図(承認図)またはそれらに替わる書類、土木工事等材料については、その性能等を証明する書類とする。</p> <p>※ 3 水道使用材料納品後、立会願を提出し、監督員の材料確認状況及び材料のメーカーマークが分かる写真を工事写真帳に添付すること。</p> <p>※ 4 在庫品を使用する場合、工事打合せ簿にて使用したい在庫品の一覧表を添付すること。 また、立会願いを提出し、監督員は在庫品を確認し、使用可能かを工事打合せ簿で回答すること。確認状況写真を工事写真帳に添付すること。</p> <p>※ 2 一体化長さ</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1 設計水圧0.75Mpa、摩擦係数0.3で設計している。</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 2 上記の条件と管の各口径及び各土被りを考慮し一体化長さを確認し、ライナや特殊押輪の有無を適時確認して施工すること。</p> <p>※ 3 管の据付</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1 管路の高さを調整する場合は、スクリーニングス等を詰めた土嚢を原則使用すること。</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 2 木材を使用する場合には、防腐処理を施した材料を使用すること。</p> <p>※ 4 消火栓・空気弁</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1 丸型消火栓ボックスを設置する箇所については、補修弁のバルブの位置を配水管法線から、90°の位置に設置すること。</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 2 消火栓及び空気弁の口の高さは、GL-20cm±5に収まるようにフランジ短管で調節すること。</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 3 フランジ部で使用するボルトは75mm以上のSUS製とすること。 また、ナットについては、SUS製の緩み防止仕様を使用すること。</p> <p>※ 5 水圧試験</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1 標準仕様書5.10(1)について以下の条件を全て満たす場合、試験水圧0.75MPa、試験時間10分間、低下率1.0%以内を許容限度とする。 ・材質は铸铁管 ・口径は300mm以下 ・試験延長合計は100m未満</p> <p>※ 6 現場発生品の処分</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1 既設铸铁管、鉄蓋関係の処分については、有価物として売却すること。その場合、金属くず商の許可証の写し、物品の受領を証明する書類、計量証明書などを監督員に提出すること また、計量伝票などの集計を設計変更の対象とする。なお、処分地はアライマタルで運搬距離は4.9kmを計上している。ただし、上記書類等が整えば、別の処分地でも可能とする。 その場合は、設計変更の対象としない。</p> <p style="padding-left: 20px;">2 既設石綿管の撤去が発生した場合、「水道用石綿セメント管の撤去作業等における石綿対策の手引き」(平成17年8月、厚生労働省健康局水道課)を参考として作業を行うこと。 その文章中のプラスチック袋等は、ポリエチレンスリーブ(2重包み)に置き換えて作業すること。処分地は特記仕様書(追記)のとおりとする。</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 3 既設塩ビ管、ボックス等、その他現場発生品については、その材質により適切に処分すること。処分費については、処分地等は大阪湾広域臨海環境整備センター(播磨事業所)、運搬距離16km、処分費目は廃プラスチック類でを計上している。 ただし、計量伝票などの集計を設計変更の対象とする。</p> <p>※ 7 スクラップの種類</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1 撤去铸铁管関係については、故銑Bで計上している。</p>

特記仕様書
(令和4年度 立石1丁目ほか地内配水管布設替工事)

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
---	--

章																																																																																																																																																				
3	<p>土工事</p> <p style="margin-left: 20px;">1 重機</p> <p style="margin-left: 40px;">1 特殊車両(一般的制限値である幅2.5m、長さ12.0m、高さ3.8m、総重量20.0t等のいずれかを越える車両)を使用する工事なので、施工計画書に明記するとともに、施工時までに必要な書類をそろえ、監督員に提示できるようにしておくこと。</p> <p>※ 2 アスファルト切断</p> <p style="margin-left: 40px;">※ 1 アスファルト切断は、乾式または吸引式を使用すること。</p> <p>※ 3 配水管布設時の掘削幅</p> <p style="margin-left: 40px;">※ 1 矢板無の場合、単位はmm</p> <table border="1" style="margin-left: 80px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><th>口径</th><th>φ 75</th><th>φ 100</th><th>φ 150</th><th>φ 200</th><th>φ 250</th><th>φ 300</th><th>φ 350</th><th>φ 400</th><th>φ 450</th></tr> <tr><td>GX形</td><td>600</td><td>600</td><td>600</td><td>600</td><td>650</td><td>700</td><td>900</td><td>950</td><td>1000</td></tr> <tr><td>NS形</td><td>600</td><td>650</td><td>700</td><td>750</td><td>800</td><td>850</td><td>900</td><td>950</td><td>1000</td></tr> <tr><td>K形</td><td>600</td><td>650</td><td>700</td><td>750</td><td>800</td><td>850</td><td>900</td><td>950</td><td>1000</td></tr> </table> <p style="margin-left: 40px;">※ 2 矢板有の場合、単位はmm</p> <table border="1" style="margin-left: 80px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><th>口径</th><th>φ 75</th><th>φ 100</th><th>φ 150</th><th>φ 200</th><th>φ 250</th><th>φ 300</th><th>φ 350</th><th>φ 400</th><th>φ 450</th></tr> <tr><td>GX形</td><td>850</td><td>850</td><td>850</td><td>850</td><td>850</td><td>850</td><td>950</td><td>1000</td><td>1050</td></tr> <tr><td>NS形</td><td>850</td><td>850</td><td>850</td><td>850</td><td>850</td><td>900</td><td>950</td><td>1000</td><td>1050</td></tr> <tr><td>K形</td><td>850</td><td>850</td><td>850</td><td>850</td><td>850</td><td>900</td><td>950</td><td>1000</td><td>1050</td></tr> </table> <p style="margin-left: 40px;">※ 4 配水管布設時の掘削深</p> <p style="margin-left: 80px;">※ 1 配水管布設時の掘削深は、土被り+布設管外径(D2)+100を基本とする。</p> <p style="margin-left: 80px;">※ 2 既設管を撤去し、その断面で新設管を布設する場合、既設管の管底まで掘削し、上記のように掘削深から100mm程度上げた状態で管を布設することを基本とする。ただし、近接する地下埋設物の状態や既設管の配管状況により、曲管等の異形管が極力増えないように土被りを検討すること。</p> <p style="margin-left: 80px;">※ 3 会所掘箇所は、G-Link・P-Link・特殊押輪等の押しボルト設置箇所とする。</p> <p style="margin-left: 80px;">※ 4 会所掘箇所の断面は、布設管口径がφ 350mm以下の場合、延長500mm、深さ200mm、φ 400mm以上の場合、延長800mm、深さ500mmとし、幅はそれぞれの掘削幅とする。</p> <p style="margin-left: 20px;">5 仮配水管・仮給水管の掘削幅・掘削深</p> <p style="margin-left: 40px;">1 矢板無の場合、単位はmm</p> <table border="1" style="margin-left: 80px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><th>口径</th><th>φ 100以下</th><th>φ 150</th><th>φ 200</th><th>φ 250</th><th>φ 300</th><th>φ 400</th></tr> <tr><td>幅</td><td>400</td><td>450</td><td>500</td><td>550</td><td>600</td><td>700</td></tr> <tr><td>深さ</td><td>400</td><td>450</td><td>500</td><td>550</td><td>600</td><td>800</td></tr> </table> <p style="margin-left: 40px;">2 矢板有の場合の掘削幅、単位はmm</p> <table border="1" style="margin-left: 80px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><th>口径</th><th>φ 100以下</th><th>φ 150</th><th>φ 200</th><th>φ 250</th><th>φ 300</th><th>φ 400</th></tr> <tr><td>幅</td><td>700</td><td>750</td><td>800</td><td>850</td><td>900</td><td>1000</td></tr> </table> <p style="margin-left: 80px;">3 仮給水管設置撤去時の掘削幅は400mm、掘削深は300mmとすること。</p> <p style="margin-left: 80px;">4 直轄国道に布設撤去する場合は深さ600mm以上とすること。</p> <p>※ 6 既設管撤去の掘削幅</p> <p style="margin-left: 40px;">※ 1 矢板無の場合、単位はmm</p> <table border="1" style="margin-left: 80px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><th>口径</th><th>φ 75~150</th><th>φ 200</th><th>φ 250</th><th>φ 300</th><th>φ 350</th><th>φ 400</th><th>φ 450</th></tr> <tr><td>幅</td><td>600</td><td>600</td><td>650</td><td>700</td><td>900</td><td>950</td><td>1000</td></tr> </table> <p style="margin-left: 40px;">※ 2 矢板有の場合、単位はmm</p> <table border="1" style="margin-left: 80px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><th>口径</th><th>φ 75~150</th><th>φ 200</th><th>φ 250</th><th>φ 300</th><th>φ 350</th><th>φ 400</th><th>φ 450</th></tr> <tr><td>幅</td><td>850</td><td>850</td><td>850</td><td>850</td><td>950</td><td>1000</td><td>1050</td></tr> </table>	口径	φ 75	φ 100	φ 150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 350	φ 400	φ 450	GX形	600	600	600	600	650	700	900	950	1000	NS形	600	650	700	750	800	850	900	950	1000	K形	600	650	700	750	800	850	900	950	1000	口径	φ 75	φ 100	φ 150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 350	φ 400	φ 450	GX形	850	850	850	850	850	850	950	1000	1050	NS形	850	850	850	850	850	900	950	1000	1050	K形	850	850	850	850	850	900	950	1000	1050	口径	φ 100以下	φ 150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 400	幅	400	450	500	550	600	700	深さ	400	450	500	550	600	800	口径	φ 100以下	φ 150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 400	幅	700	750	800	850	900	1000	口径	φ 75~150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 350	φ 400	φ 450	幅	600	600	650	700	900	950	1000	口径	φ 75~150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 350	φ 400	φ 450	幅	850	850	850	850	950	1000	1050
口径	φ 75	φ 100	φ 150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 350	φ 400	φ 450																																																																																																																																											
GX形	600	600	600	600	650	700	900	950	1000																																																																																																																																											
NS形	600	650	700	750	800	850	900	950	1000																																																																																																																																											
K形	600	650	700	750	800	850	900	950	1000																																																																																																																																											
口径	φ 75	φ 100	φ 150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 350	φ 400	φ 450																																																																																																																																											
GX形	850	850	850	850	850	850	950	1000	1050																																																																																																																																											
NS形	850	850	850	850	850	900	950	1000	1050																																																																																																																																											
K形	850	850	850	850	850	900	950	1000	1050																																																																																																																																											
口径	φ 100以下	φ 150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 400																																																																																																																																														
幅	400	450	500	550	600	700																																																																																																																																														
深さ	400	450	500	550	600	800																																																																																																																																														
口径	φ 100以下	φ 150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 400																																																																																																																																														
幅	700	750	800	850	900	1000																																																																																																																																														
口径	φ 75~150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 350	φ 400	φ 450																																																																																																																																													
幅	600	600	650	700	900	950	1000																																																																																																																																													
口径	φ 75~150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 350	φ 400	φ 450																																																																																																																																													
幅	850	850	850	850	950	1000	1050																																																																																																																																													

特記仕様書
(令和4年度 立石1丁目ほか地内配水管布設替工事)

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
	<p>7 給水管の掘削幅、掘削深、延長</p> <p>1 分水穿孔部について、新設管布設後の場合は本管掘削幅、延長は600mm、深さは新設管布設時の土被りとする。既設管から分岐する場合は、本管口径のK形を布設する場合の掘削幅、延長は600mm、深さは既設管土被り+既設管呼び径+100mmとする。</p> <p>2 給水管部は、幅500mm、延長は給水管延長(本管～止水栓距離)－分水穿孔部掘削幅/2、深さは本管土被り-100mmとする。</p> <p>※ 8 掘削・埋戻し</p> <p>※ 1 埋戻し一層厚さ20cm未満とする。</p> <p>※ 2 水圧がかかっている水道管周りを掘削するときは、必ず人力掘削すること。</p> <p>※ 3 管路布設後、管下を埋め戻す場合には、スクリーニングス等を使用し、きちんと胴締めすること。管路布設前に余掘り分を埋め戻す場合は、再生砕石等良質土を使用し、きちんと転圧すること。</p> <p>※ 9 残土・処分地</p> <p>※ 1 処分地は特記仕様書(追記)参照。</p> <p>※ 2 特記仕様書(追記)は積算条件を明示しているものであり受入施設を指定するものではなく、受注者は、県登録施設から搬出先施設を選定し、土木工事共通仕様書(兵庫県県土整備部監修)に基づき施工計画書に含め、監督員に提出しなければならない。なお、受注者の選定した施設が積算条件と異なる場合においても設計変更は行わない。</p> <p>ただし、特記仕様書(追記)の施設が工事発注後に県登録施設からの登録抹消等により受け入れ困難となった場合は、設計変更を行う。</p> <p>※ 10 各種試験</p> <p>※ 1 「土木工事施工管理基準」(兵庫県県土整備部監修)に定める以下の試験等について、基準を次のように定める。</p> <p>※ 上層路盤の現場密度の測定・・・埋戻土及び管路掘削箇所について省略する。</p> <p>※ 11 仮設材の運搬</p> <p>※ 1 仮設材の運搬については、積算上、運搬距離10kmを見込んでいます。</p> <p>なお、受注者が実施する条件と異なる場合においても設計変更を行わない。</p> <p>※ 12 その他事項</p> <p>※ 1 工事範囲内にある各種鉄蓋の表面を汚さないよう処置をとること。</p>

章	
4	<p>舗装工</p> <p>※ 1 舗装前準備</p> <p>※ 1 既設構造物(側溝、街渠等)等に損傷を与えていないか、動いていないか等を確認し、異常がある場合は、適正な方法を検討し、監督員と協議すること。</p> <p>※ 2 下水道の鉄蓋で古い鉄蓋(コンクリート蓋、コンクリート巻鉄蓋等)がある場合は、舗装復旧前に下水道室が取り替えることがあるので、位置が分かるものと現況写真を提出すること。</p> <p>※ 3 他の地下埋設物の鉄蓋で高さ調整が必要なものは、位置が分かるものと現況写真と高さ調整の程度(+○cm等)が分かるものを提出すること。</p> <p>※ 4 舗装復旧内に古い消火栓蓋、空気弁蓋、仕切弁蓋がある場合は、取替するかどうか監督員と協議すること。</p>

特記仕様書
(令和4年度 立石1丁目ほか地内配水管布設替工事)

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
	<p>5 切削オーバーレイで施工を予定している。 土木工事共通仕様書(兵庫県県土整備部監修)及び土木工事施工管理基準(兵庫県県土整備部監修)に記載のとおり、測量し計画書を作成し、監督員の承諾を得たのち、施工すること。</p>
※ 2	<p>不陸整正工</p> <p>※ 1 補充材の有無を確認し、路床面の不陸を整正すること。</p> <p>※ 2 既設構造物、各種鉄蓋と接触する部分は、入念に清掃すること。</p>
※ 3	<p>乳剤散布</p> <p>※ 1 ムラにならないよう、均一に散布すること。</p> <p>※ 2 既設構造物、各種鉄蓋と接触する部分等にも散布すること。</p>
※ 4	<p>アスファルト舗装工</p> <p>※ 1 当日舗装版撤去した範囲について、表層まで復旧出来ない場合は監督員と協議すること。 その場合は、周辺住民によく周知し、既設構造物、各種鉄蓋の箇所が歩行者、二輪車、自動車等の交通車両に危険が無いよう、すり合わせし、段差有の看板を立てるなど注意喚起すること。</p>
※ 5	<p>区画線工</p> <p>1 インターロッキング舗装等のブロック舗装範囲に消火栓を設置した際の消火栓周り(黄色)の区画線は設置しないこと。</p> <p>※ 2 施工直前に施工箇所を清掃し、プライマーを塗布すること。</p> <p>※ 3 ガラスビーズを配合すること。</p>
※ 6	<p>各種試験</p> <p>※ 1 「土木工事施工管理基準」(兵庫県県土整備部監修)に定める必要な試験等について、試験位置、試験方法等を事前に監督員に報告すること。</p> <p>※ 2 「土木工事施工管理基準」(兵庫県県土整備部監修)に定める以下の試験等について、基準を次のように定める。</p> <p>※ 1 アスファルトの現場密度の測定・・・同一配合のアスファルト施工面積500m2未満について省略する。</p> <p>※ 2 アスファルトコア採取・・・同一配合のアスファルト施工面積1箇所20m2以上500m2未満の箇所についてコア採取は1箇所とする。また、20m2未満については省略する。</p> <p>※ 3 表層の平坦性・・・省略する</p> <p>※ 4 既設管充填処理に使用するモルタル等の強度試験・・・省略する。</p>
	<p>7 その他事項</p>

特記仕様書(追記)

1 建設発生土の搬出先

品目	建設発生土
施設の名称	(株)明神リサイクルセンター
所在地	明石市大久保町松陰字石ヶ谷1240他
運搬距離	6.9 km
受入等諸条件	県土整備部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に掲載される当該施設の受入条件を遵守すること。
その他	監督員の指示による

2 特定建設資材の分別解体等・再資源化等

1)分別解体等の方法

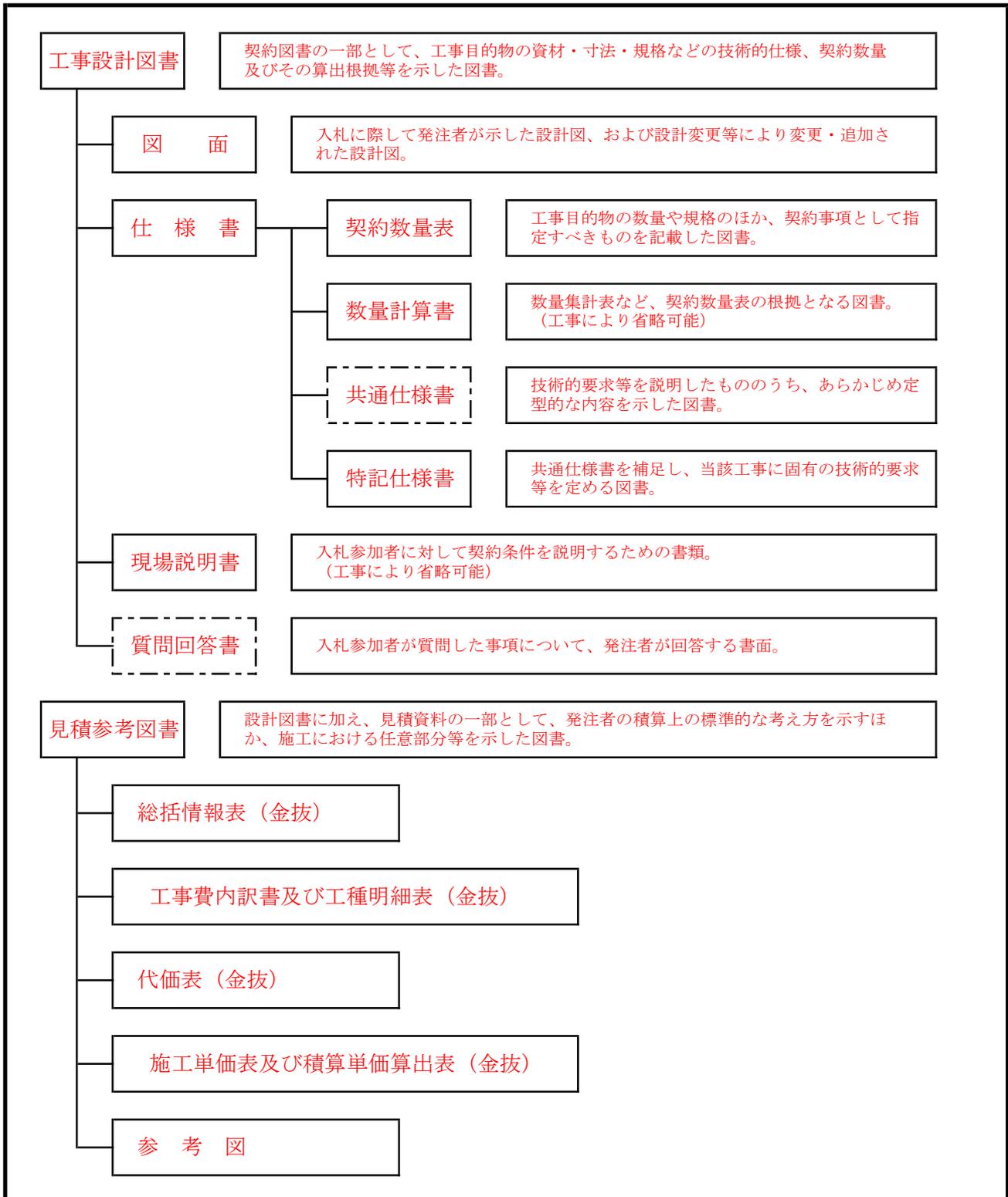
工程ごとの作業内容及び解体方法	工程	作業内容	分別解体等の方法
	①仮設	仮設工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑥その他	その他の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用

2)再資源化等をする施設の名称及び所在地

品目	アスファルト塊
施設の名称	(株)NIPPO神戸合材センター
所在地	神戸市西区櫛谷町寺谷字従弟谷723-11
運搬距離	14.0 km
受入等諸条件	県土整備部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に掲載される当該施設の受入条件を遵守すること。
その他	監督員の指示による

3 仕様書

設計図書の他に交付する「見積参考図書」とは入札（見積）参加者の適正かつ迅速な見積に資するための資料であり、明石市工事請負契約約款 第1条でいう設計図書ではない。従って、「見積参考図書」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、請負者は施工条件及び地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法及び安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について、請負者の責任において定めるものとする。なお、「見積参考図書」の有効期限は、本工事の入札（見積日）までとする。



水道工事標準仕様書

1 総則

1.1 (適用)

- 1 水道工事標準仕様書(以下「標準仕様書」という。)は、明石市水道局が発注する水道管(導水・送水・配水)を布設する工事及び給水管工事(以下「工事」という。)に係る工事請負契約書(頭書を含み以下「契約書」という。)及び設計図書の内容について統一的な解釈及び運用を図るとともに、その他必要な事項を定め、もって契約の適正な履行の確保を図るためのものである。
- 2 契約書及び仕様書・契約数量表・設計図(以下「設計図書」(標準仕様書を除く)という。)に記載された事項は、この標準仕様書に優先する。
- 3 本工事は、契約書及び設計図書のほか、水道工事標準仕様書(日本水道協会)・給水装置工事施行基準(明石市水道局)及びその他関係図書による。ただし、土木工事共通仕様書(兵庫県県土整備部監修)の水道編の第2章第2節については、適用しない。

1.2 (法令等の厳守)

本工事の施工にあたっては、工事に関する関係法令等を厳守し、安全に行わなければならない。

1.3 (書類の提出)

- 1 受注者は、明石市及び明石市水道局の定める様式による書類を提出すること。
- 2 提出した書類に変更が生じたときは、速やかに変更の書類を提出すること。

1.4 (監督員)

- 1 監督員とは、水道法第12条により、水道局が指定した当該工事を監督する職員(主任監督員及び監督員)をいう。

1.5 (工事实績データの登録)

水道工事を2件以上合併で発注している工事については、工事請負代金合計額が500万円以上の場合に一括の内容で登録すること。

1.6 (目的物の引渡し)

工事目的物の引渡しは、工事完成届兼(引渡書)を水道局に提出し完成検査に合格したときをもって完了とする。

2 安全管理

2.1 (事故防止)

- 1 工事中、不明管が出てきた場合には、監督員に連絡し、監督員の指示に従って、他の地下埋設物管理者に確認したうえ、適切に処理すること。
- 2 掘削及び埋戻し工事中、他の構造物及び地下埋設物の損傷及び陥没等を発見した際には、その場で監督員に連絡し、指示を受けること。その際には写真撮影し、関係部署に報告できるようにしておくこと。

また、当該施工範囲内で道路構造物や他の地下埋設物の損傷及び陥没等を発見した際には、遅滞なく監督員に連絡すること。

- 3 受注者は熱中症対策等について十分に注意し、作業員に水分補給・塩分補給・休憩等を十分とらせること。

2.2 (事故発生時の措置)

事故等緊急非常事態が発生した時は、第三者及び作業員等の人命救助、人命の安全確保を最優先させるものとし、応急措置を講じるとともに、監督員及び関係各部署へ連絡しなければならない。また、軽微な事故等についても速やかに監督員に事故報告書等で報告するとともに、その指示を受けるものとする。

2.3 (現場の整理整頓)

- 1 受注者は工事施工中、交通及び保安上の障害とならないよう機械器具、不用土砂等を使用の都度、整理整頓し、現場内及びその付近は常に清潔に保つこと。その際に、機械器具等を無断で家の敷地に置いたり、壁等に立て掛けたりしないこと。
- 2 受注者は、日々の現場作業終了時には、固定している看板類及び必要な安全施設等以外の工事関係物は仮設事務所等に持ち帰り、適切に保管すること。

3 工事施工

3.1 (一般事項)

- 1 受注者は、工事に先立ち、施工条件等を十分に把握したうえで、設計図書及び事前調査結果に基づいて検討し、施工方法、工程、安全対策、環境対策等必要な事項を記載した施工計画書を提出し、これに基づき、工事の適正な施工管理を行うこと。なお、施工計画書作成に当たっては、監督員と十分打合せを行うこと。

また、施工時において事前検討の条件と実際の施工条件との相違又は新たに生じた状況等により施工計画書に記載した内容に変更が生じるときは、監督員と協議し、速やかに施工計画書を追加及び変更すること。

- 2 施工期限が定められた箇所がある場合は、監督員と十分協議し、工程の進行を図ること。
- 3 受注者は、監督員が常に施工状況の確認が取れるように日報等の必要な資料を速やかに提出すること。

3.2 (現場立会、架線・地下埋設物調査及び現地調査)

- 1 近接構造物(家屋含む)の事前調査を行い、損傷等の有無を撮影し、関係者に提出すること。
- 2 施工範囲内の道路上の境界ピン・境界杭の有無を調査し報告すること。ある場合は監督員と協議し、その対応を検討すること。
- 3 当該工事付近に公共基準点がある場合は、明石市公共基準点管理保全要領に定めるところにより、必要な申請書等を作成するほか、公共基準点を保持するための測量をすること。
- 4 給水管切替工事がある場合、施工前に今回給水管を切替する家屋に漏水が無いかの確認及び給水管口径の確認をし、報告すること。
- 5 その他設計図書に対する疑義がある場合は、工事打合せ簿にて協議をすること。

3.3 (地元説明)

- 1 受注者は、工事着手前に所定の工事標示を行い、付近住民に工事内容を説明して協力を求め、工事の円滑な遂行をはかること。
- 2 工事のため騒音を発し、付近住民の日常生活・業務等を妨害しないように配慮すること。

- 3 施工について営業等に支障があると思われる時は、監督員並びに付近住民と協議の上で、できるだけこの軽減に努めること。
- 4 工事範囲内に自治会がある場合、当該自治会長に第 1 項と同様の工事説明を行うとともに、必要に応じて、工事広報の配布を行い工事同意書の提出を求めること。
- 5 受注者は施工前及び施工中(断水・濁水などの可能性がある場合)には、関係家屋にビラ等を配布し、周知すること。
- 6 給水管の切替等で個人の敷地内に入り、量水器または散水栓等から空気を抜く作業等を行う場合は、その旨を事前に説明し、トラブルが起らないようにすること。

3.4 (試掘調査)

試掘調査前に事前立会等で確認した試掘位置、試掘目的を工事打合簿にて報告すること。また、試掘調査後は、以下の項目について速やかに結果をまとめ、工事打合簿にて報告または協議すること。

- ・試掘断面の地下埋設物の状況
- ・既設舗装構成
- ・設計図書通りの撤去・埋設が可能か
- ・既設管の外面腐食等の異常の有無
- ・接続部がインチ管の場合、既設管外周長さを測定し、インチ管であることの確認
- ・その他試掘調査結果で判明した協議事項

3.5 (夜間工事)

夜間工事をする場合は、十分な照明を行うとともに保安設備を施すこと。また、付近住民に工事のお知らせビラを配布し、説明するとともに協力を依頼すること。施工中は極力騒音・照明等により迷惑をかけないように十分配慮すること。騒音対策には、管切断時のロールカッターの使用や防音シートの使用も検討すること。

3.6 (立会)

下記の項目について事前に立会願を提出し、立会を行うものとする。

- ・材料納入時（在庫品使用時含む）の材料検収
- ・通常配管及び不断水工事箇所の水圧試験
- ・その他監督員が必要と判断した事項

3.7 (工事関係書類の整備)

受注者は監督員の点検を随時受けられるよう、工事及び安全に関する書類を整備しておくこと。

4 材料

4.1 (水道材料の規格)

本工事に使用する水道材料は、設計図書に品質規格を規定されたものを除き、明石市水道局が材料分類ごとに指定したメーカー（別添使用材料登録業者一覧表及び給水装置工事施行基準参照）の製品（以下「指定品」という。）を使用すること。指定品以外の製品及び特殊品を使用する場合には、監督員の承諾を得た後、使用すること。

設計書及び特記仕様書に別途記載がある場合を除き、明石市水道局の規格を以下に示す。

- (1) K形ゴム輪は、同軸押輪・芯出ゴム輪又は同芯ゴム輪と同等品以上とすること。
- (2) 特殊押輪、耐震補強金具等は耐震型(離脱防止性能 3DkN 以上)を使用すること。

- (3) K形管のT頭ボルト・ナットは、酸化被膜製と同等品以上とすること。
- (4) フランジボルト・ナットは SUS 製を使用すること。特に消火栓及び空気弁の立ち上がり部におけるフランジ継手に使用するフランジナットは SUS304 製(緩み防止仕様)を使用すること。
- (5) フランジ部の粉体塗装面に接触する箇所には、ワッシャー(SUS 製)を使用すること。
- (6) 弁栓類等で使用するフランジの規格は2種(0.75MPa)とする。特に消火栓及び空気弁の立ち上がり部に使用するフランジ継手材はフランジ接合補強具(LSP 形)を使用すること。
- (7) 仕切弁・消火栓・補修弁の開閉方向は左開きとする。
- (8) 鉄蓋・受枠・ボックスは、明石市水道局性能規定書による製品とする。特に円形消火栓(空気弁)鉄蓋は耐スリップ車道用又は歩道用とする。
- (9) 割T字管の分岐口径φ150以下について、密着コアを使用すること。
- (10) サドル分水栓穿孔箇所については、密着コアを使用すること。
- (11) 直管に内面粉体塗装を使用している路線については、「粉体塗装管」と記載しているポリエチレンスリーブを使用すること。
- (12) 表示帯(管明示シート)は、15cm幅2倍折の水道を明記したエコマーク認定品を使用すること。
- (13) 管明示テープは、5cm幅の水道用(青色)、年号(工事発注年度)を明記したエコマーク認定品を使用すること。(導水管は黄色無地を併用)

4.2 (土木材料の規格)

本工事に使用する土木材料は、以下に示す規格及び設計図書に品質規格を規定されたものを除き、土木工事共通仕様書(兵庫県県土整備部監修)に示す品質規格に適合したもの、またはこれと同等以上の品質を有するものとする。

- (1) スクリーニングスは、JIS A5001 F-2.5とする。ただし、監督員と協議のうえ、砂を使用する場合は、海砂(洗砂)とする。
- (2) 再生砕石は、路盤部分はRC-30とし、その他はRC-40とする。
- (3) 粒調砕石は、M-30とする。
- (4) 再生密粒度アスファルトは、最大粒径13mm、締固め密度2.35t/m³とする。
- (5) 再生粗粒度アスファルトは、最大粒径20mm、締固め密度2.35t/m³とする。
- (6) 再生アスファルト安定処理混合物は、最大粒径25mm、締固め密度2.35t/m³とする。

4.3 (水道材料の確認)

- 1 受注者は、材料確認した材料が使用時に損傷、変質等している場合は、新品と取替、再確認を受けること。不良品は現場から直ちに搬出すること。
- 2 現地確認・試験掘削の結果等を十分反映させ、購入するものとする。
- 3 仮給水管切替は、現地確認により既設給水管の口径等を十分把握し、反映させるものとする。
- 4 支給材料については、監督員と受注者が確認した後、受領し、支給品受領書(様式15)を提出すること。

5 管布設工事

5.1 (配管技能者)

- 1 受注者は、鑄鉄管布設工事に先立ち、当該工事に適する下記の配管技能者の登録証、受講証等を施工体制台帳に添付すること。配管技能者とは、日本水道協会の配水管技能登録者(一般登録・耐震登録・大口径)又は、各管協会や各メーカーの継手接合研修会受講証等を有する者とする。日本水道協会の配管技能登録者の場合、一般登録はT・K形管等の一般継手(φ450mm以下)、耐震登録はNS・GX形管等の耐震継手(φ450mm以下)、大口径は一般継手と耐震継手(全口径)を配管出来る技能を有するものとする。各管協会や各メーカーの継手接合研修会受講証等を有する者の場合、管種・口径を指定している受講証については、その管種・口径とし、NS形・耐震管の受講証については、その口径のNS・GX形管等の耐震継手及び一般継手を配管出来る技能を有するものとする。
- 2 受注者は、鑄鉄管を布設するときには、上記の配管技能者が、当該工事で使用する管種・口径の施工要領等に従って施工すること。
- 3 受注者は、給水管の施工がある場合には、明石市水道事業指定給水装置工事事業者証及びその業者が雇用する給水装置工事主任技術者の資格証の写しを施工体制台帳に添付すること。また、その給水装置工事主任技術者が給水装置工事施行基準(明石市水道局)に基づき監督・指導すること。
- 4 受注者は、上記以外の管種(配水用ポリエチレン管・鋼管等)の施工、または、管更生等が含まれる場合、それぞれの資格証等を有する技能者が施工すること。また、その資格証等を施工体制台帳に含めて監督員に提出すること。

5.2 (工種の制限)

工事の確実性、周辺への水の濁り等を考慮して、金曜日、土曜日及び祝日の前日には、工種を制限しているので監督員と協議し施工すること。

5.3 (断水を伴う連絡工事)

- 1 断水を伴う連絡工事箇所は、監督員立会の上、試掘調査を行い、連絡する既設管及び他の近接埋設物を確認すること。
- 2 断水を伴う連絡工事にあたっては、事前に施工日時等を監督員と調整の上行うこと。ただし、断水時間は13時30分から16時を基本とすること。断水時間を極力短縮するために必要な諸設備・機械器具及び車輛等を十分点検し、経験豊富な技術者と作業員を配置すること。
- 3 断水作業及び管内洗浄作業等に必要な弁栓類操作は、監督員または水道局職員の指導のもと、受注業者及び下請業者が行う、そのために必要な人員を監督員と協議し、確保すること。
- 4 万が一、連絡工事箇所周辺で濁水及び漏水が起こったときには、水道局職員の指示により周辺家屋への対応をすること。

5.4 (広報活動)

- 1 断水工事を行う場合には、事前に断水となる家屋等を調査した資料と、断水のビラを監督員が確認したあと、当該家屋に配布すること。そのビラには、日時・区域・連絡先及びその他必要事項を記入すること。
- 2 断水を伴わない場合でも、仕切弁の開閉操作等により、工事箇所周辺に濁水のおそれがある場合は、配布する家屋等を監督員と協議したうえで、断水のビラと同様の濁水のビラを監督員

が確認したあと、当該家屋に配布すること。

3 上記の広報活動をする場合に、当該区域内にある店舗・病院・工場・浴場等には事前に個別に了解を得ること。

4 受水槽物件があれば、事前にその設置管理者と打合せを行い、ポンプ電源や流入側バルブ等の閉止措置を行うこと。

5.5 (ボルトの締め付け)

1 ボルトの締め付けに際しては、対称的な位置を順次締め、片締めにならないように、ゴム輪の圧縮を均等にさせること。

2 インパクトレンチを使用する場合には、締め付けの7割程度とし、残りはトルクレンチで締め付けること。

3 トルクの管理については、チェックシートに全箇所記載し、竣工図書で提出すること。

5.6 (使用機材)

内面粉体塗装管の分水栓穿孔作業をするときは、先端角度が90°から100°、ねじれ角度が20°から30°の電動式穿孔機を使用すること。

5.7 (管の明示)

1 管の識別を明確にするために、管明示テープを使用して、上水道管であることを明らかにすること。

2 表示帯(管明示シート)は、管天より40cmの位置に丁寧に設置すること。

5.8 (仮消火栓)

仮消火栓を配置する箇所について、「仮消火栓」の看板等を設置して明示するとともに、撤去予定の消火栓の鉄蓋に使用禁止を明示すること。

5.9 (仮舗装復旧)

本工事において仮舗装復旧した箇所について、路面表示部分を掘削した場合は、本復旧までの間、同色のペイント等で修復すること。また、水道の仮舗装箇所と分かるように水色塗料で水道マーク表示を行うこと。

5.10 (水圧試験)

1 水道管の水圧試験は、水道局職員が管内充水後、特に監督員からの指示がある場合を除き、下記の試験水圧まで加圧し確認するものとする。

(1) 通常配管(以下の特殊箇所以外)の場合、試験水圧を0.75MPaとする。30分間以上の経過後、低下率1.0%以内を許容限度とする。

(2) 不断水工事の割T字管箇所は、試験水圧を1.25MPaとする。ただし、既設管の状態が悪い場合(FC管又は表面の腐食等が激しい場合)・ACP管・VP管の場合は、最高試験水圧は1.0MPa以下でもよい。5分間以上その状態を保持し、水圧の低下の無いことを確認するものとする。

(3) 中大口径のメカニカル継手管で、監督員が認めた場合は、テストバンドによる継手の水密性検査をもって、水圧試験に代えることが出来るものとする。この場合は、水圧0.50MPaを負荷して5分経過後に0.40MPa以上保持することを確認するものとする。

(4) 管更生の場合は、管更生区間のみで水圧試験を(1)の方法で行い、その後、その区間を含めた仕切弁から仕切弁の水圧試験を再度(1)の方法で行うものとする。ただし、管更生区間

のみの水圧試験にかかる材料（栓、押輪等）等は設計で計上するものとする。

(5) 配水用ポリエチレン管、鋼管等の場合は、監督員の指示により、試験水圧及び方法を決定する。

2 給水管の水圧試験は、サドル分水栓部分のみ 1.75MPa まで加圧し、1 分間以上のその状態を保持し、水圧の低下の無いことを確認するものとする。

5.11 (水道メーターの確認)

仮給水管、給水管切替後は水道メーターの逆付けをしてないか確認すること。

6 提出書類

受注者は、工事請負契約に必要な書類を明石市水道局の入札・契約情報のホームページ及び土木請負工事必携(兵庫県県土整備部監修)に記載されている書類を関係部署に提出するほか、下記の書類を監督員に提出すること。ただし、監督員が必要でないとした場合は、この限りでない。

1 工事日報

受注者は、契約日から竣工日までの日々の作業において、必要な工種に対して工事日報を作成し、監督員にすみやかに提出しなければならない。工事日報に記入する項目は、表側に年月日、曜日、天気、工事名、工事場所、当初設計延長（口径別）、出来形延長（口径別、日毎延長、累計延長）、作業内容、使用材料（品名、形質、数量等）を、裏側に日毎の作業内容の図示（下記竣工図(水道管)・(給水管)と同様）とする。また、白色ケント紙 110kg（A 4 サイズ）で作成すること。

2 竣工図(水道管)

受注者は、竣工図（兼出来形図）を作成し、工事完成図書に添えて提出すること。竣工図（兼出来形図）には次にあげるものをもって構成する。

(1) 配水管平面図（他の埋設管等で切り回している箇所等は別途詳細図）は、布設位置、標準断面図、土被り、延長（管種・口径毎）、防護工等を以下のことに注意して記入すること。

a. 必ず方位を記入すること。

b. 直管、切管、異形管、弁栓類等の種別及び材質を表示すること。切管等の数値はmm表示とし、整数 1 位を四捨五入とし、2 位表示とすること。

c. 特殊押輪、普通押輪、G-Link、ライナの区別を表示すること。

d. 配管材料記号、引出線及び部材名等を赤色で表示すること。

(2) 消火栓、空気弁、仕切弁、その他監督員の指示する箇所等についてはオフセット測量し、撤去されるおそれの無いマンホールの中心点や地先境界の角、その他 3 点以上の照点を定め水平距離を測定し記入する。

(3) 仕切弁・バタフライ弁・消火栓・空気弁・補修弁・不断水等の弁栓類関係について、使用したメーカー名を記入すること。

(4) 掘削断面に他企業埋設管（下水管、ガス管等）が出てきた箇所については、竣工図の断面箇所図に他企業埋設管の位置、口径がわかるように図示すること。

3 竣工図(給水管)

受注者は、竣工図を作成し、白色ケント紙 110kg（A 3 サイズ）を工事完成図書に添えて提出すること。竣工図には次にあげるものをもって構成する。

平面図には、口径、延長、家屋番号を、表には家屋番号、水道番号、家屋名、サドル分水栓、

本管深さ、PPユニオン、PPエルボ、VPユニオン、止水栓、ボックス、PPパイプ、本管止水距離、備考（接続した管種）を記入すること。

4 その他提出書類

書類名	提出時期	提出部数	備考
施工計画書	工事実工程着手前	2部	配水管・給水管合併工事は併せて作成(1部返却)
使用材料確認願 土木工事承諾願	工事実工程着手前	2部	配水管・給水管合併工事は併せて作成(1部返却)
施工体制台帳	下請負契約後速やかに	2部	配水管・給水管合併工事は併せて作成(1部返却)
工事日報	施工日以後速やかに	1部	配水管・給水管合併工事は併せて作成
竣工図(原図)	竣工時	1部	JPEG(A1・カラー・解像度200dpi以上)で保存したCDを提出
竣工図(焼き図)(原則A1サイズ)	竣工時	4部	上記竣工図折図で提出 白紙(カラー)・折図(横15cm×縦23cm)

その他明石市水道事業工事検査規程及び明石市水道事業施設等工事検査要綱に基づき必要書類を提出すること。CD及びDVDで提出するものは、工事名・内容が分かるようにすること。

* 竣工図書は、B4A4サイズの文書保存箱で工事名・施工年度等を明示して納品すること。
(施行期日)

この仕様書は、2022年7月1日より施行する。

使用材料登録業者一覧表

材料分類	適用規格等	登録業者名
水道用ダクタイル鋳鉄管直管 (内面エポキシ樹脂粉体塗装)	GX形5種管(溝切するときは1種管) NS形1種管	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、日本鋳鉄管㈱
水道用ダクタイル鋳鉄異形管 (内面エポキシ樹脂粉体塗装)		㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、日本鋳鉄管㈱、㈱ハズ、 ㈱岡本、朝日鋳工㈱、梅原工業㈱、九州鋳鉄管㈱、 大成機工㈱、クロダイト工業㈱、㈱イトー 鋳造
水道用ソフトシール仕切弁 (内外面エポキシ樹脂粉体塗装)	JIS B 2062又はJWWA B 120 (内外面はJIS A 5528又はJWWA A 112) 左回り開き、内ねじ式	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱ハズ、前澤工業㈱、 ㈱清水合金製作所、清水工業㈱、㈱清水鐵工所 富士鐵工㈱、千代田工業㈱、角田鐵工㈱、宮部鐵工㈱
水道用ハタフライ弁 (内面エポキシ樹脂粉体塗装)	JWWA B 138 (内面はJIS A 5528又はJWWA A 112) 左回り開き、キャップ式	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、前澤工業㈱、 ㈱清水鐵工所、㈱清水合金製作所、清水工業㈱、
水道用地下式消火栓 (内外面エポキシ樹脂粉体塗装)	JWWA B 103 (内外面はJIS A 5528又はJWWA A 112) 左回り開き、キャップ式、クランプ式	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱ハズ、前澤工業㈱、 ㈱清水合金製作所、清水工業㈱、㈱清水鐵工所、 富士鐵工㈱、千代田工業㈱、 宮部鐵工㈱、協和工業㈱、角田鐵工㈱
水道用急速空気弁 (内外面エポキシ樹脂粉体塗装)	JWWA B 137 (内外面はJIS A 5528又はJWWA A 112)	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱ハズ、前澤工業㈱、 ㈱清水合金製作所、清水工業㈱、㈱清水鐵工所、 千代田工業㈱、宮部鐵工㈱、 協和工業㈱、角田鐵工㈱
水道用補修弁 (内外面エポキシ樹脂粉体塗装)	JWWA B 126 (内外面はJIS A 5528又はJWWA A 112) 左回り開き、キャップ式、ボール式	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱ハズ、前澤工業㈱、 ㈱清水合金製作所、清水工業㈱、㈱清水鐵工所、 富士鐵工㈱、千代田工業㈱、 宮部鐵工㈱、角田鐵工㈱、協和工業㈱
伸縮可とう管 (内面エポキシ樹脂粉体塗装)	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、㈱水研、クロダイト工業㈱、 日本ヴィクトリック㈱
不断水割T字管及び不断水バルブ (接水部エポキシ樹脂粉体塗装)	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、㈱水研
特殊継輪 (内面エポキシ樹脂粉体塗装)	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、㈱水研、 川崎機工㈱、クロダイト工業㈱
特殊押輪	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、㈱水研、 川崎機工㈱、クロダイト工業㈱
K形ゴム輪	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、川崎機工㈱
ゴム輪(K形以外)、パッキン(LSP形以外)		大成機工㈱、コスモ工機㈱、川崎機工㈱、㈱クボタ ㈱栗本鐵工所、興和ゴム工業㈱、三報ゴム㈱、 日本鋳鉄管㈱、サンエス護謨工業㈱、協和工業(株)
フランジ継手材(LSP形)	メーカー仕様(JWWA合格証印)	協和工業㈱、サンエス護謨工業㈱
ボルト・ナット(緩み防止仕様以外) (GX形、NS形、フランジ形はステンレス製 、K形は酸化被膜製)		㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱岡本、クロダイト工業㈱、 ㈱水研、㈱田中、㈱エスティム、日本鋳鉄管㈱、協和工業㈱ 日本鋳螺(株)
ボルト・ナット(SUS304製 緩み防止仕様)		協和工業㈱、サンエス護謨工業㈱
水道用ダクタイル鋳鉄管用 ホリエチレンスリーブ 明示テープ(エコ認定製品)	JWWA K 158 JDPA Z 2005	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、三報ゴム㈱、 サンエス護謨工業㈱、ヨツギ㈱
鉄蓋・受枠	明石市性能規定書	日之出水道機器㈱、長島鋳物㈱、スズテック㈱、 ㈱ダイモン
ボックス(レジンコンクリート製)	明石市性能規定書	日之出水道機器㈱、三国プラスチック㈱、長島鋳物㈱ スズキ鋳鉄工業㈱、㈱ダイモン
仮配管	SUS管 PE管	明和工業㈱、㈱多久製作所 ㈱光明製作所

見 積 参 考 図 書									
年 度	令和4年度	技術管理者	課長	係長	係長	精算者	設計者	老朽管整備事業費	
工 事 番 号	04-2202							設 計 年 月 日	令和4年 7月 7日
着 工 番 号								精 算 年 月 日	令和4年 7月 7日
施 工 理 由									
施 工 箇 所	明石市立石1丁目ほか地内					施 工 方 法 及 び 工 事 期 限		<input type="checkbox"/> 請 負 単価契約 令和5年3月10日まで	
工 事 名 称	立石1丁目ほか地内配水管布設替工事					支 払 い 方 法		前 払 金	あり (40%以内)
								中 間 前 払 金	あり (20%以内)
								部 分 払	あり (2回以内)
工 事 概 要	配水管布設工計 L=343.6m								
	配水管布設工 φ75 L=3.9m φ300 L=339.7m								
	仕切弁設置工 φ75 1箇所 φ300 4箇所								
	消火栓設置工 φ300 1箇所								
	既設管撤去工 1式								
	舗装復旧工 1式								
当初設計金額	円	消費税相当額	円	当初請負金額	円	消費税相当額	円		
変更設計金額	円	消費税相当額	円	変更請負金額	円	消費税相当額	円		
増 減	円	増 減	円	増 減	円	増 減	円		

総括情報表

単価適用年月日	0-04.07.01(0)		
	今 回		前 回
工種区分 施工地域区分	01 開削工事及び小口推進工事 23 一般交通影響あり(2)		

工 事 費 内 訳 書

頁0-0002/0155

	費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費						
	管路(開削)					
	φ75管路					
	φ75管布設工					
		1	式			工種 第0001号明細表
	φ75管布設土工					
		1	式			工種 第0004号明細表
	φ300管路					
	φ300管布設工					
		1	式			工種 第0006号明細表
	φ300管布設土工					
		1	式			工種 第0009号明細表
	付帯工					
			式			

工 事 費 内 訳 書

頁0-0003/0155

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
既設管撤去工						
	1		式			工種 第0012号明細表
舗装復旧工						
	1		式			工種 第0017号明細表
区画線工						
	1		式			工種 第0021号明細表
交通誘導員設置						
	1		式			工種 第0023号明細表
直接工事費計						
共通仮設費計						
運搬費						
			式			
仮設材運搬費						
	1		式			工種 第0026号明細表
準備費						
			式			

工 事 費 内 訳 書

頁0-0004/0155

	費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	試掘調査					
		1	式			工種 第0027号明細表
	技術管理費					
			式			
	通水試験費					
		1	式			工種 第0028号明細表
	共通仮設費率分					
			式			
	純工事費計					
	現場管理費					
			式			
	工事原価計					
	一般管理費等					
			式			
	スクラップ控除					
			式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
DGX-S 直管 φ 75×4000 ゴム輪・ロックリング(ホルダー含) 内面エポキシ粉体塗装	1	本			K 管材費
DGX 挿し受片落管 φ 100× 75 ロックリング含 内面エポキシ粉体塗装	1	個			K 管材費
DGX 曲管 φ 75×45° ロックリング含 内面エポキシ粉体塗装	2	個			K 管材費
DGX 継ぎ輪 φ 75 ロックリング含 内面エポキシ粉体塗装	1	個			K 管材費
簡易バルブ付耐震型割T字管 φ 75× 75 3DkN以上 密着コア (SUS製) 含む K型挿し口	1	基			K 管材費
GX形ソトソール仕切弁(両受) φ 75 ロックリング含 内面エポキシ樹脂粉体塗装	1	基			K 管材費
仕切弁ボックス(円形1号)(H=640) 鉄蓋含む	1	組			施工 第0-0022号内訳表
GX形G-Linkセット φ 75 切管異形管受用	4	組			
GX形接合セット φ 75 異形管・V用	4	組			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
GX形接合セット φ100 異形管・V用	1	組			
DGX 栓(異形管用) φ75 内面エポキシ粉体塗装	1	個			K 管材費
表示帯	3.9	m			
ポリエチレンスリーブ φ75 固定材料含む	3.9	m			施工 第0-0023号内訳表
管明示テープ(幅50mm 1巻 20m) 年号入り エコマーク認定品	1	巻			
合 計	1	式			

手間

工種明細表

工種 第0003号明細表

頁0-0009/0155

名称・規格	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
鋳鉄管吊込み据付 (機械力) 呼び径 75mm以下	3.7		m						施工	第0-0024号内訳表
鋳鉄管(新設管)切断工(エンジンカッター) ガクタイル鋳鉄管 呼び径75mm	2		口						施工	第0-0026号内訳表
耐震型割T字管穿孔工 φ 75× 75 密着コア取付含む 平日・昼間施工 K型挿し口	1		基							
鋳鉄製仕切弁 (機械力) 設置 縦型仕切弁 呼び径 100mm以下	1		基						施工	第0-0027号内訳表
仕切弁ボックス設置工(H=640) 鉄蓋設置含む	1		箇所							
G X継手接合(呼び径 75mm) G-Linkの接合	4		口						施工	第0-0033号内訳表
G X継手接合(呼び径 75mm) 異形管	5		口						施工	第0-0034号内訳表
G X継手接合(呼び径 100mm) 異形管	1		口						施工	第0-0035号内訳表
管明示シート工	3.9		m						施工	第0-0036号内訳表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	12	m			施工 第0-0001号内訳表
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	3	m ²			施工 第0-0002号内訳表
掘削積込工	2	m ³			施工 第0-0039号内訳表
掘削積込工(補助的作業なし)	0.6	m ³			施工 第0-0004号内訳表
掘削(人力) 土砂 現場制約あり	0.6	m ³			施工 第0-0040号内訳表
残塊処分工(アスファルト) 〔株NIPPO神戸合材センター〕 運搬距離 L=14.0km	0.2	m ³			施工 第0-0015号内訳表
残塊処分工(土砂) 〔株明神リサイクルセンター〕 運搬距離 L=6.9km	4	m ³			施工 第0-0019号内訳表
仮復旧工〔密粒度〔再〕(13)〕 厚 5cm	3	m ²			施工 第0-0012号内訳表
路盤工(粒調碎石) 上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚10cm	3	m ²			施工 第0-0009号内訳表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
DGX-S 直管 φ300×6000 ゴム輪・ロックリング(ホルダー含) 内面球形粉体塗装	55	本			K 管材費
DGX 曲管 φ300×45° ロックリング含 内面球形粉体塗装	19	個			K 管材費
DGX 曲管 φ300×22° 1/2 ロックリング含 内面球形粉体塗装	3	個			K 管材費
DGX 両受曲管 φ300×45° ロックリング含 内面球形粉体塗装	7	個			K 管材費
DGX 両受曲管 φ300×22° 1/2 ロックリング含 内面球形粉体塗装	1	個			K 管材費
DGX 乙字管 φ300×300H ロックリング含 内面球形粉体塗装	1	個			K 管材費
DGX 二受T字管 φ300×100 ロックリング含 内面球形粉体塗装	1	個			K 管材費
DGX 二受T字管 φ300×300 ロックリング含 内面球形粉体塗装	2	個			K 管材費
DGX フランジ付きT字管 φ300×75 ロックリング含 内面球形粉体塗装	1	個			K 管材費

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
DGX 継ぎ輪 φ300 ロックリング含 内面珪酸粉体塗装	2	個			K 管材費
DGX 短管1号 φ300 ロックリング含 内面珪酸粉体塗装	2	個			K 管材費
DGX 栓(異形管用) φ300 内面珪酸粉体塗装	1	個			K 管材費
DNS 栓(異径管用) φ400 接合部材1組含む 内面珪酸粉体塗装	1	個			K 管材費
ソトシール仕切弁付割T字管 φ350×300	1	基			K 管材費
ソトシール仕切弁付割T字管 φ400×300	1	基			K 管材費
フランジ 耐震金具 φ300(3DkN以上)	2	組			
不断水簡易バルブ(鋳鉄管用) φ350	1	基			K 管材費
GX形ソトシール仕切弁(受挿し) φ300 ロックリング含 内面珪酸樹脂粉体塗装	4	基			K 管材費

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
仕切弁ボックス(円形1号)(H=640) 鉄蓋含む	3	組			施工 第0-0022号内訳表
仕切弁ボックス(円形1号)(H=740) 鉄蓋含む	4	組			施工 第0-0041号内訳表
ケレップ式単口消火栓(浅埋形) φ75×65 JWWA B 103, 地下式, 単口式, 0.75MPa FCD 内外面エポキシ粉体塗装	1	基			K 管材費
フランジ短管 φ75×100 0.75MPa 内面エポキシ粉体塗装	2	個			K 管材費
補修弁(キャップ式) φ75×100 JWWA B 126, 0.75MPa FCD 内外面エポキシ粉体塗装	1	基			K 管材費
フランジ接合補強具(LSP形) φ75 7.5K LSPパッキン ボルト・ナット(SUS304製)緩み防止仕様	4	組			K 管材費
フランジ接合補強具(LSP形) φ300 7.5K LSPパッキン ボルト・ナット(SUS304製)緩み防止仕様	2	組			K 管材費
消火栓ボックス(円形3号)(H=640) 鉄蓋及び無収縮モルタル含む	1	組			施工 第0-0042号内訳表
GX形P-Linkセット φ300 切管直管受用	1	組			K 管材費

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
GX形G-Linkセット φ300 切管異形管受用	24	組			
GX形接合セット φ300 異形管・V用	31	組			
GX形ライフ φ300 ライフポート含	11	組			K 管材費
充填用配管 φ50	2	箇所			
表示帯	339.7	m			
ポリエチレンスリーブ φ300 固定材料含む	339.7	m			施工 第0-0044号内訳表
管明示テープ (幅50mm 1巻 20m) 年号入り エコマーク認定品	35	巻			
合計	1	式			

工種明細表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
鑄鉄管吊込み据付(機械力) 呼び径 300mm	336.9	m			施工 第0-0045号内訳表
鑄鉄管(新設管)切断工(エンジンカッター) ガクタイ鑄鉄管 呼び径300mm	16	口			施工 第0-0046号内訳表
不断水穿孔工事費 φ350×300	1	基			
不断水穿孔工事費 φ400×300	1	基			
フランジ継手 接合(呼び径 300mm) JWWA 7.5K	2	口			施工 第0-0047号内訳表
不断水バルブ設置工(鑄鉄管用) φ350	1	基			
鑄鉄製仕切弁(機械力)設置 縦型仕切弁 呼び径 300mm	4	基			施工 第0-0048号内訳表
仕切弁ボックス設置工(H=640) 鉄蓋設置含む	3	箇所			
仕切弁ボックス設置工(H=740) 鉄蓋設置含む	4	箇所			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
消火栓(地下式 単口)設置工 機械施工 フランジ 接合1口含む	1	箇所			施工 第0-0051号内訳表
フランジ継手 接合(呼び径 75(80)mm) J WWA 7.5K	3	口			施工 第0-0052号内訳表
消火栓ボックス設置工(H=640) 鉄蓋設置含む	1	箇所			
G X継手接合(呼び径 300mm) 直管	55	口			施工 第0-0058号内訳表
G X継手接合(呼び径 300mm) P-Linkの接合	1	口			施工 第0-0059号内訳表
G X継手接合(呼び径 300mm) G-Linkの接合	24	口			施工 第0-0060号内訳表
G X継手接合(呼び径 300mm) 異形管	32	口			施工 第0-0061号内訳表
G X継手接合(呼び径 400mm) 異形管	1	口			施工 第0-0062号内訳表
G X継手取外し(呼び径 300mm) 異形管	1	口			施工 第0-0063号内訳表

手間

工種明細表

工種 第0008号明細表

頁0-0021/0155

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
充填用配管設置工 φ50	1	式			
管明示シート工	339.7	m			施工 第0-0036号内訳表
ホリエレンスリーブ被覆(呼び径 300mm)	339.7	m			施工 第0-0066号内訳表
管明示テープ工 φ300	339.7	m			施工 第0-0067号内訳表
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
土工	(1)	式			工種 第0010号明細表
鋼矢板賃料	(1)	式			工種 第0011号明細表
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	640	m			施工 第0-0001号内訳表
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cmを超え30cm以下	58	m			施工 第0-0068号内訳表
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	224	m ²			施工 第0-0002号内訳表
舗装版破碎(アスファルト舗装版) 撤去厚→15cmを超え35cm以下	21	m ²			施工 第0-0069号内訳表
掘削積込工	290	m ³			施工 第0-0039号内訳表
掘削積込工(補助的作業なし)	5	m ³			施工 第0-0004号内訳表
掘削(人力) 土砂 現場制約あり	5	m ³			施工 第0-0040号内訳表
残塊処分工(アスファルト) 〔株NIPPO神戸合材センター〕 運搬距離 L=14.0km	16	m ³			施工 第0-0015号内訳表
残塊処分工(土砂) 〔株明神リサイクルセンター〕 運搬距離 L=6.9km	300	m ³			施工 第0-0019号内訳表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
仮復旧工 [密粒度[再](13)] 厚 5cm	246	m2			施工 第0-0012号内訳表
路盤工(粒調碎石) 上層路盤 施工幅:1.8m 未満 仕上り厚10cm	224	m2			施工 第0-0009号内訳表
上層路盤(車道・路肩部) 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ HMS t = 150mm	21	m2			施工 第0-0070号内訳表
フィルター層 t = 40mm以上60mm未満 洗砂	218	m2			施工 第0-0011号内訳表
埋戻工 (埋戻し材→再生切込砕石)	110	m3			施工 第0-0008号内訳表
埋戻工 (埋戻し材→スクリーニングス)	130	m3			施工 第0-0006号内訳表
軽量鋼矢板建込引抜工 (両側分)	15.5	m			施工 第0-0071号内訳表
軽量鋼矢板建込引抜工 (両側分)	2.5	m			施工 第0-0072号内訳表
土留支保工 (設置+撤去) 1段 切梁種別 水圧式ハブポット	15.5	m			施工 第0-0073号内訳表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
名称・規格 鋳鉄管吊込み撤去(機械力) 呼び径 75mm以下	6.5	m			施工 第0-0075号内訳表
名称・規格 鋳鉄管吊込み撤去(機械力) 呼び径 350mm	7.0	m			施工 第0-0076号内訳表
名称・規格 鋳鉄管吊込み撤去(機械力) 呼び径 400mm	9.2	m			施工 第0-0077号内訳表
名称・規格 鋳鉄管(既設管)撤去切断工(エンジンカッター) ダクタイル鋳鉄管 呼び径75mm	3	口			施工 第0-0078号内訳表
名称・規格 鋳鉄管(既設管)撤去切断工(エンジンカッター) ダクタイル鋳鉄管 呼び径350mm	5	口			施工 第0-0079号内訳表
名称・規格 鋳鉄管(既設管)撤去切断工(エンジンカッター) ダクタイル鋳鉄管 呼び径400mm	5	口			施工 第0-0080号内訳表
名称・規格 G X継手取外し(呼び径 75mm) 異形管	1	口			施工 第0-0081号内訳表
名称・規格 N S継手 取外し(呼び径 400mm) 直管	1	口			施工 第0-0082号内訳表
名称・規格 カニカル継手 接合(呼び径 350mm) 継手:K形 特殊押輪補正あり	1	口			施工 第0-0083号内訳表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
メカニカル継手 接合(呼び径 400mm) 継手：K形 特殊押輪補正あり	1	口			施工 第0-0084号内訳表
既設円形1号ボックス撤去工 鉄蓋撤去含む	2	箇所			
既設円形3号ボックス撤去工 鉄蓋撤去含む	2	箇所			
現場発生品・支給品運搬	1	回			施工 第0-0097号内訳表
現場発生品・支給品運搬	1	回			施工 第0-0098号内訳表
処分費 (廃プラスチック類)	0.3	t			
モルタル充填工	38.5	m3			施工 第0-0099号内訳表
合計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	6	m			施工 第0-0001号内訳表
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cmを超え30cm以下	29	m			施工 第0-0068号内訳表
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	2	m ²			施工 第0-0002号内訳表
舗装版破碎(アスファルト舗装版) 撤去厚→15cmを超え35cm以下	17	m ²			施工 第0-0069号内訳表
掘削積込工	24	m ³			施工 第0-0039号内訳表
残塊処分工(アスファルト) 〔株NIPPO神戸合材センター〕 運搬距離 L=14.0km	4	m ³			施工 第0-0015号内訳表
残塊処分工(土砂) 〔株明神リサイクルセンター〕 運搬距離 L=6.9km	24	m ³			施工 第0-0019号内訳表
仮復旧工〔密粒度〔再〕(13)〕 厚 5cm	19	m ²			施工 第0-0012号内訳表
路盤工(粒調碎石) 上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚10cm	2	m ²			施工 第0-0009号内訳表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
上層路盤(車道・路肩部) 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ HMS t = 150mm	17	m ²			施工 第0-0070号内訳表
フィルター層 t = 40mm以上60mm未満 洗砂	2	m ²			施工 第0-0011号内訳表
埋戻工(埋戻し材→再生切込碎石)	25	m ³			施工 第0-0008号内訳表
軽量鋼矢板建込引抜工(両側分)	16.2	m			施工 第0-0071号内訳表
土留支保工(設置+撤去) 1段 切梁種別 水圧式 ^ハ イ ^ブ サ ^ト	16.2	m			施工 第0-0073号内訳表
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	61	m			施工 第0-0001号内訳表
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	270	m2			施工 第0-0002号内訳表
掘削積込工	2	m3			施工 第0-0039号内訳表
残塊処分工(アスファルト) 〔株NIPPO神戸合材センター〕 運搬距離 L=14.0km	25	m3			施工 第0-0015号内訳表
残塊処分工(土砂) 〔株明神リサイクルセンター〕 運搬距離 L=6.9km	2	m3			施工 第0-0019号内訳表
不陸整正 補足材料→有り(29mm以上34mm未満) 補足材(各種)	270	m2			施工 第0-0101号内訳表
基層(車道・路肩部) t = 50mm 粗粒度アスコン[再](20)	270	m2			施工 第0-0102号内訳表
表層(車道・路肩部) t = 50mm 密粒度アスコン[再](13)	270	m2			施工 第0-0103号内訳表
合計	1	式			

工種明細表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	6	m			施工 第0-0001号内訳表
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	46	m ²			施工 第0-0002号内訳表
残塊処分工(アスファルト) 〔株NIPPO神戸合材センター〕 運搬距離 L=14.0km	2	m ³			施工 第0-0015号内訳表
不陸整正工(粒調碎石) 施工幅：1.8m 以上、補足材厚3cm	46	m ²			施工 第0-0104号内訳表
表層(車道・路肩部) t = 50mm 密粒度アスコン[再] (13)	46	m ²			施工 第0-0106号内訳表
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	22	m			施工 第0-0001号内訳表
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	1,350	m ²			施工 第0-0002号内訳表
残塊処分工(アスファルト) 〔株NIPPO神戸合材センター〕 運搬距離 L=14.0km	67	m ³			施工 第0-0015号内訳表
不陸整正工(粒調碎石) 施工幅：1.8m 以上、補足材厚3cm	1,350	m ²			施工 第0-0104号内訳表
透水性アスファルト舗装 t = 50mm 一般・4t以下乗入部→開粒度As(13)	1,350	m ²			施工 第0-0107号内訳表
合 計	1	式			

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	6.0	m			施工 第0-0001号内訳表
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	2.0	m2			施工 第0-0002号内訳表
掘削積込工(補助的作業なし)	1.9	m3			施工 第0-0004号内訳表
掘削(人力) 土砂	1.0	m3			施工 第0-0005号内訳表
埋戻工 (埋戻し材→スクリーニングス)	1.0	m3			施工 第0-0006号内訳表
埋戻工 (埋戻し材→再生切込砕石)	1.6	m3			施工 第0-0008号内訳表
路盤工(粒調砕石) 上層路盤 施工幅:1.8m 未満 仕上り厚10cm	2.0	m2			施工 第0-0009号内訳表
フィルター層 t =40mm以上60mm未満 洗砂	2.0	m2			施工 第0-0011号内訳表
仮復旧工 [密粒度[再](13)] 厚 5cm	2.0	m2			施工 第0-0012号内訳表

舗装版切断(アスファルト舗装版)
[規格 1] As舗装版厚->15cm以下

[規格 2]

積算単価算出表

施工 第0-0001号内訳表

頁0-0049/0155
m 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		コンクリートカッタ 切削深20cm級 [ハキューム式・湿式]			コンクリートカッタ			
K								
R1		特殊作業員			特殊作業員			
R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
R3		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		コンクリートカッタ(プレート) 径22インチ			舗道版切断 カッタープレート			
Z2		カソリン レギュラー スタンド			レギュラーカソリン			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	舗装版種別	=1		アスファルト舗装版				
B	アスファルト舗装版厚	=1		15cm以下				

掘削(人力)
[規格1] 土砂

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0005号内訳表

頁0-0052/0155
m3 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R								
Z								
					計			
積算単価 =								
A	土質	=1	土砂					
B	施工方法	=6	現場制約あり					

フィルター層
[規格1] t=40mm以上60mm未満

[規格2] 洗砂

積算単価算出表

施工 第0-0011号内訳表

頁0-0056/0155
m2 当り

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		バックホウ 山積0.28m3(平積0.2) [クローラ型後方超小旋回型・超低騒音] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含)			
K2		振動ローラ(舗装用) 質量3~4t [搭乗コンパインド式] 排出ガス対策型含			振動ローラ(排出ガス対策型含)			
K								
R1		特殊作業員			特殊作業員			
R2		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R3		普通作業員			普通作業員			
R4		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		砂 再生砂			砂 洗砂			
Z2		軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	平均厚さ	=1	40mm以上60mm未満					
B	フィルター材種別	=1	洗砂					

施工単価表

施工 第0-0012号内訳表

頁0-0057/0155

仮復旧工 [密粒度[再](13)]

[規格1]厚 5cm

[規格2]

[摘要]

100

m2

当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
密粒度アスファルト混合物(再生材) TOP13		t			
振動ローリ運転		日			
振動コンパクタ運転		日			
諸雑費		%			
合 計	100	m2			
単 位 当 り	1	m2			

施工単価表

施工 第0-0020号内訳表

頁0-0062/0155

運搬

[規格1]処理対象->土砂

[規格2]

[摘要]

10

m3 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
ダンプトラック運転 路面：良好		日			
合計	10	m3			
単位当り	1	m3			
A ダンプトラック規格		=2			
B 積込機械・規格		=3			
C 土質区分		=1			
D 運搬距離(km)		=6.9			
E DID区間		=2			
F 路面状態		=1			

ダンプトラック4t積
バックホウ 山積0.28m3 (平積0.20m3)
土砂
運搬距離(km)
DID有
路面：良好

掘削（人力）
 [規格1] 土砂 現場制約あり

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0040号内訳表

頁0-0080/0155
 m3 当り

1

標準単価	代表機労材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R								
Z								
					計			
積算単価 =								
A	土質	=1	土砂					
B	施工方法	=6	現場制約あり					

舗装版切断(アスファルト舗装版)

[規格 1] As舗装版厚->15cmを超え30cm以下

[規格 2]

積算単価算出表

施工 第0-0068号内訳表

頁0-0104/0155

[摘要]

1

m 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		コンクリートカッタ 切削深30cm級 [ハキューム式(超低騒音型)・湿式]			コンクリートカッタ			
K								
R1		特殊作業員			特殊作業員			
R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
R3		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		コンクリートカッタ(フプレート) 径30インチ			舗道版切断 カッターフプレート			
Z2		コンクリートカッタ(フプレート) 径22インチ			舗道版切断 カッターフプレート			
Z3		コンクリートカッタ(フプレート) 径14インチ			舗装版切断 カッターフプレート			
Z4		ガソリン レキユラー スタント			レキユラーガソリン			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	舗装版種別	=1		アスファルト舗装版				
B	アスファルト舗装版厚	=2		15cmを超え30cm以下				

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	コンクリート圧砕機(単体) [大割機] 開口幅735~850mm 破砕力550~980kN			バックホウ用アタッチメント			
K2	バックホウ 山積0.45m3(平積0.35m3) [カラー型] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型含)			
K							
R1	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	舗装版種別 =1		アスファルト舗装版				
B	障害等の有無 =1		無し				
C	騒音振動対策 =2		必要				
D	舗装版厚 =3		15cmを超え35cm以下				
F	積込作業の有無 =1		有り				

上層路盤(車道・路肩部)

[規格1] 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ HMS

[規格2] t = 150mm

積算単価算出表

施工 第0-0070号内訳表

頁0-0106/0155

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		モータロータプレート幅3.1m [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)]			モータロータ			
K2		ロータ質量10t [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)]			ロータ			
K3		タイヤロー 質量8~20t 排出ガス対策型含			タイヤロー(排出ガス対策型含)			
K								
R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R3		普通作業員			普通作業員			
R4		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		再生粒度調整碎石 RM-40 全厚t=150mm			水硬性粒度調整鉄鋼スラグ HMS			
Z2		軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	材料	=4		水硬性粒度調整鉄鋼スラグ HMS				
D	全仕上り厚(mm)	=150		全仕上り厚(mm)				
E	施工区分	=1		1層施工				

施工単価表

施工 第0-0071号内訳表

頁0-0107/0155

軽量鋼矢板建込引抜工（両側分）

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
バックホ運転		時間			
トラックレン ホータ付き		日			
合 計	100	m			
単 位 当 り	1	m			
A 作業種別		=3	建込+引抜		
B 掘削深		=2	掘削深 2.0m以下		
C バックホ規格		=3	バックホ 山積0.28m3(平積0.2m3)		

施工単価表

施工 第0-0072号内訳表

頁0-0108/0155

軽量鋼矢板建込引抜工（両側分）

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
バックホ運転		時間			
トラックレン ホータ付き		日			
合 計	100	m			
単 位 当 り	1	m			
A 作業種別		=3	建込+引抜		
B 掘削深		=3	掘削深 2.5m以下		
C バックホ規格		=3	バックホ 山積0.28m3(平積0.2m3)		

施工単価表

施工 第0-0074号内訳表

頁0-0110/0155

土留支保工（設置＋撤去）

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	[規格2] 単位	[規格2] 単価	[摘要] 金額	[摘要] 備考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
合 計	100	m			
単 位 当 り	1	m			
A 施工区分		=3			
B 切梁種別		=1			
C 設置段数		=2			

設置＋撤去
切梁種別 水圧式パイプカット
設置段数 2段 3.5m以下

施工単価表

施工 第0-0083号内訳表

頁0-0119/0155

メニカル継手 接合(呼び径 350mm)

[規格1]継手：K形 特殊押輪補正あり

[規格2]

[摘要]

1

口 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工		人			(接合)
普通作業員		人			(接合)
諸雑費		%			(接合)
特殊押輪使用による割増		%			(接合)
単 位 当 り	1	口			
A 作業区分		=1	接合		
B 継手の種類		=5	K形		
C 呼び径		=7	呼び径 350mm		
E 特殊押輪使用による補正の有無		=2	特殊押輪補正あり		
F ★★割増補正(%)		=	★★割増補正(%)		
G 現場状況		=2	普通 (係数 1.2)		

施工単価表

施工 第0-0084号内訳表

頁0-0120/0155

メニカル継手 接合(呼び径 400mm)

[規格1]継手:K形 特殊押輪補正あり

[規格2]

[摘要]

1

口 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工		人			(接合)
普通作業員		人			(接合)
諸雑費		%			(接合)
特殊押輪使用による割増		%			(接合)
単 位 当 り	1	口			
A 作業区分		=1	接合		
B 継手の種類		=5	K形		
C 呼び径		=8	呼び径 400mm		
E 特殊押輪使用による補正の有無		=2	特殊押輪補正あり		
F ★★割増補正(%)		=	★★割増補正(%)		
G 現場状況		=2	普通(係数 1.2)		

施工単価表

施工 第0-0089号内訳表

頁0-0124/0155

レジンコンクリート製ボックス撤去 (円形)

[規格1]円形1号 内径250 下部壁 高さ 300mm

[規格2]

[摘要]

1

個 当り

名称・規格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員		人			
単 位 当 り	1	個			
A 作業区分		=2	撤去		
B 規格		=1	1号 内径250		
C 調整箇所		=4	下部壁		
D 高さ		=5	高さ 300mm		

施工単価表

施工 第0-0096号内訳表

頁0-0130/0155

レジンコンクリート製ボックス撤去（円形）

[規格1]円形3号 内径500 底版

[規格2]

[摘要]

1 個 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員		人			
単位当り	1	個			
A 作業区分 B 規格 C 調整箇所		=2 =3 =5	撤去 3号 内径500 底版		

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		トラック ベーストラック2t積 2.0t吊 [クレーン装置付]			トラック			
K								
R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	トラック機種	=1	クレーン装置付2t積2t吊					
B	片道運搬距離(km)	=2	5.0km以下					
C	1回当り平均積載質量(t)	=7	1.1t超1.5t以下					

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1		トラック べーすトラック2t積 2.0t吊 [クレーン装置付]			トラック			
K								
R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	トラック機種	=1	クレーン装置付2t積2t吊					
B	片道運搬距離(km)	=5	20.0km以下					
C	1回当り平均積載質量(t)	=3	0.2t超0.3t以下					

不陸整正

[規格1] 補足材料->有り (29mm以上34mm未満)

[規格2] 補足材(各種)

積算単価算出表

施工 第0-0101号内訳表

頁0-0134/0155

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		モータグレーダ プレート幅3.1m [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)]			モータグレーダ			
K2		ロッドローラ 質量10t [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)]			ロッドローラ			
K3		タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型含			タイヤローラ(排出ガス対策型含)			
K								
R1		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R3		普通作業員			普通作業員			
R4		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		再生クラッシャーラン RC-40			水硬性粒度調整鉄鋼スラグ			
Z2		軽油 1.2号 ハトロール給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	補足材料の有無	=2	有り					
B	補足材料平均厚さ	=9	29mm以上34mm未満					
C	補足材料	=4	補足材(各種)					

不陸整正

[規格 1] 補足材料->有り(29mm以上34mm未満)

[規格 2] 補足材(各種)

積算単価算出表

施工 第0-0101号内訳表

頁0-0135/0155

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
D	補足材(各種) (円/m3)の単価コード =1094		補足材(各種) (円/m3)の単価コード				

基層(車道・路肩部)
[規格1] t = 50mm

[規格2] 粗粒度アスコン[再](20)

積算単価算出表

施工 第0-0102号内訳表

頁0-0136/0155
m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	アスファルトフィニッシャー 舗装幅2.3~6.0m [ホイール型] 排出ガス対策型含			アスファルトフィニッシャー(排出ガス対策型含)			
K2	ロータリー 質量10~12t [マカダム] 排出ガス対策型含			ロータリー(排出ガス対策型含)			
K3	タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型含			タイヤローラ(排出ガス対策型含)			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物(20) t=50mm			粗粒度アスファルト混合物(再生材) TOP20			
Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用			アスファルト乳剤 PK-3(プライムコート用)			
Z3	軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							

表層(車道・路肩部)
[規格1] t = 50mm

[規格2] 密粒度アスコン[再](13)

積算単価算出表

施工 第0-0103号内訳表

1
頁0-0138/0155
m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	アスファルトフィニッシャ 舗装幅2.3~6.0m [ホイール型] 排出ガス対策型含			アスファルトフィニッシャ(排出ガス対策型含)			
K2	ロードローラ 質量10~12t [マカダム] 排出ガス対策型含			ロードローラ(排出ガス対策型含)			
K3	タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型含			タイヤローラ(排出ガス対策型含)			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	アスファルト混合物 密粒度AS混合物(20) t=50mm			密粒度アスファルト混合物(再生材) TOP13			
Z2	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用			アスファルト乳剤 PK-4(タックコート用)			
Z3	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							

表層(車道・路肩部)
[規格1] t = 50mm

[規格2] 密粒度アスコン[再](13)

積算単価算出表

施工 第0-0106号内訳表

頁0-0141/0155
m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	アスファルトフィニッシャ 舗装幅2.3~6.0m [ホイール型] 排出ガス対策型含			アスファルトフィニッシャ(排出ガス対策型含)			
K2	ロータリー 質量10~12t [マカダム] 排出ガス対策型含			ロータリー(排出ガス対策型含)			
K3	タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型含			タイヤローラ(排出ガス対策型含)			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	アスファルト混合物 密粒度AS混合物(20) t=50mm			密粒度アスファルト混合物(再生材) TOP13			
Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用			アスファルト乳剤 PK-3(プライムコート用)			
Z3	軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	アスファルトフィニッシャ 舗装幅2.4~6.0m [ホイール型・排出ガス対策型(第3次基準値)]			アスファルトフィニッシャ			
K2	バックホウ 山積0.28m3(平積0.2) [クローラ型後方超小旋回型・超低騒音] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含)			
K3	振動ローラ(舗装用) 質量3~4t [搭乗コンパクト式] 排出ガス対策型含			振動ローラ(排出ガス対策型含)			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	アスファルト混合物 開粒度AS混合物(13) t=40mm			開粒度アスファルト混合物(ストレートAS新規材) TOP13			
Z2	軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	平均幅員 =3		2.4m以上				
B	1層当り平均仕上り厚(mm) =50		1層当り平均仕上り厚(mm)				
C	材料 =1		一般・4t以下乗入部->開粒度As(13)				

透水性アスファルト舗装
[規格1] t = 50mm

[規格2] 一般・4t以下乗入部->開粒度As(13)

積算単価算出表

施工 第0-0107号内訳表

頁0-0144/0155
m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
	D 夜間割増の有無 =1	無し				1	

施工単価表

施工 第0-0110号内訳表

頁0-0147/0155

区画線設置 [溶融式] 材料

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
路面標示用塗料 3種1号 溶融 白 ガラスビーズ含有量15~18% 比重2.0		kg			
ガラスビーズ 1号(0.106~0.850mm)		kg			
接着用プライマー 区画線用 比重0.9		kg			
軽油		L			
諸雑費		%			
合計		m			
単位当り	1	m			
A 規格・仕様区分		=1	実線15cm		
B 排水性舗装の補正		=1	一般舗装		
C 未供用区間の補正		=1	供用区間		
D 塗布厚		=1	t=1.5mm		
E 塗料区分		=1	白		
F プライマー規格		=1	アスファルト舗装用		

施工単価表

施工 第0-0113号内訳表

頁0-0150/0155

区画線設置 [溶融式] 材料

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
路面標示用塗料 3種1号 溶融 白 ガラスビーズ含有量15~18% 比重2.0		kg			
ガラスビーズ 1号(0.106~0.850mm)		kg			
接着用プライマー 区画線用 比重0.9		kg			
軽油		L			
諸雑費		%			
合計		m			
単位当り	1	m			
A 規格・仕様区分		=4	実線45cm		
B 排水性舗装の補正		=1	一般舗装		
C 未供用区間の補正		=1	供用区間		
D 塗布厚		=1	t=1.5mm		
E 塗料区分		=1	白		
F プライマー規格		=1	アスファルト舗装用		

施工単価表

施工 第0-0115号内訳表

頁0-0152/0155

区画線設置 [溶融式] 材料

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	単位	[摘要] 単価	金額	備考
路面標示用塗料 3種1号 溶融 黄 ガラスビーズ含有量15~18% 比重2.0 鉛・クロムフリー		kg			
ガラスビーズ 1号(0.106~0.850mm)		kg			
接着用プライマー 区画線用 比重0.9		kg			
軽油		L			
諸雑費		%			
合計		m			
単位当り	1	m			
A 規格・仕様区分		=1	実線15cm		
B 排水性舗装の補正		=1	一般舗装		
C 未供用区間の補正		=1	供用区間		
D 塗布厚		=1	t=1.5mm		
E 塗料区分		=2	黄		
F プライマー規格		=1	アスファルト舗装用		

